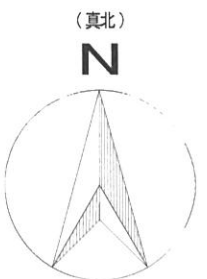


東京都北区赤羽二丁目17-4 (地番)



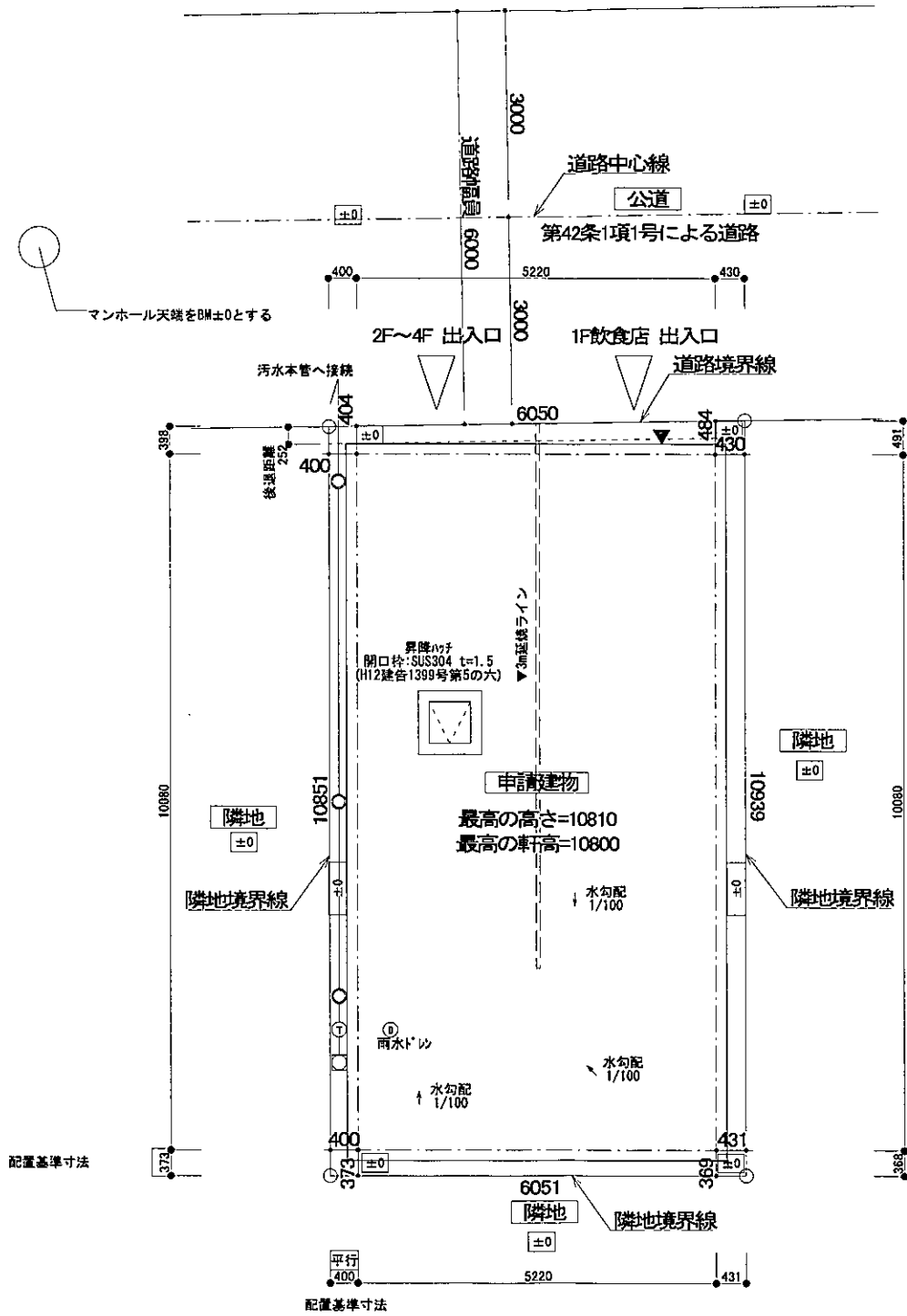
防火地域内の耐火構造 = 建ぺい率 100%
道路幅員6.00m = 6.00×0.6 = 3.60 .'.360.00%

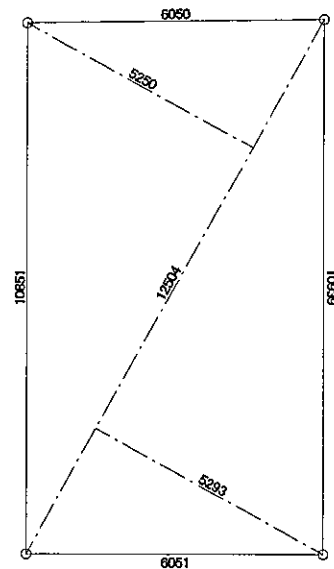
360
100

用途地域 商業地域
防火指定 防火地域
高度指定 なし
日影規制 なし

±0 : 設計G.L.とする

BM±0を設計G.L.とする





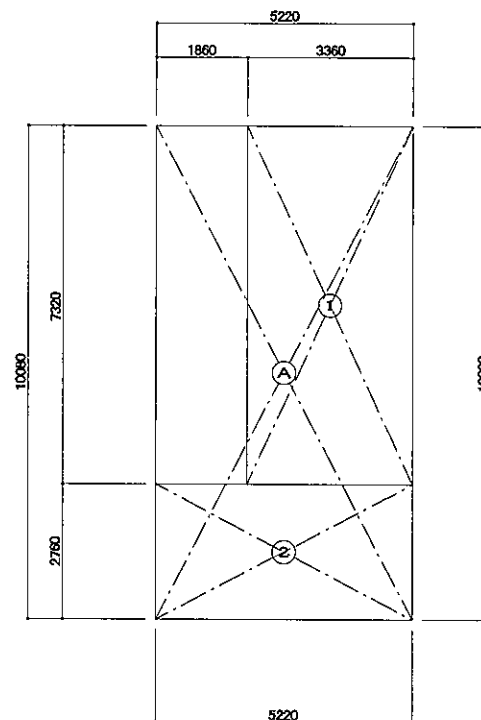
敷地面積

底辺		高さ	
12.504	×	5.250	65.646
12.504	×	5.293	66.183672
計			131.829672
× 1/2			65.914836
地積			65.91

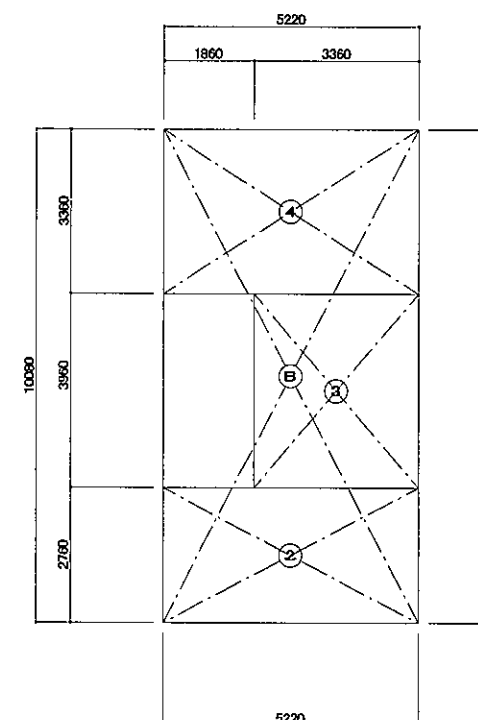
敷地面積図 S=1/150

敷地内に高低差がないため、
平均地盤面＝設計GL

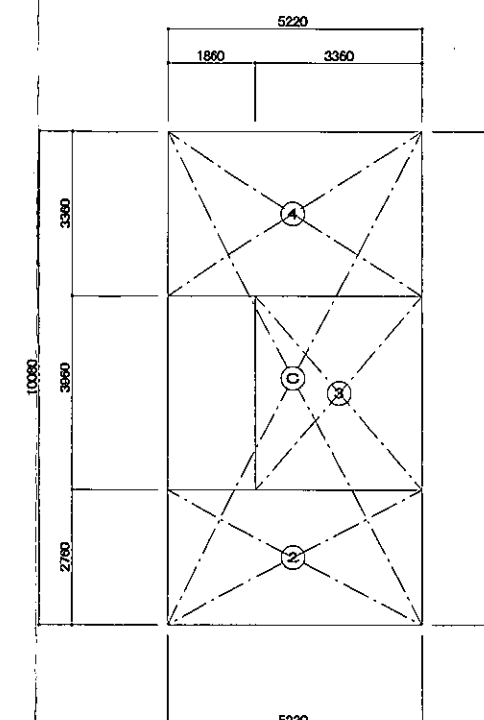
Ⓐ	(10.08×5.22)	52.6176
Ⓑ	(10.08×5.22)	52.6176
Ⓒ	(10.08×5.22)	52.6176
①	(7.32×3.36)	24.5952
②	(2.76×5.22)	14.4072
③	(3.96×3.36)	13.3056
④	(3.36×5.22)	17.5392



1階 面積図 S=1/150



2階・3階 面積図 S=1/150



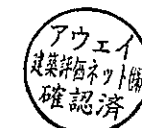
4階 面積図 S=1/150

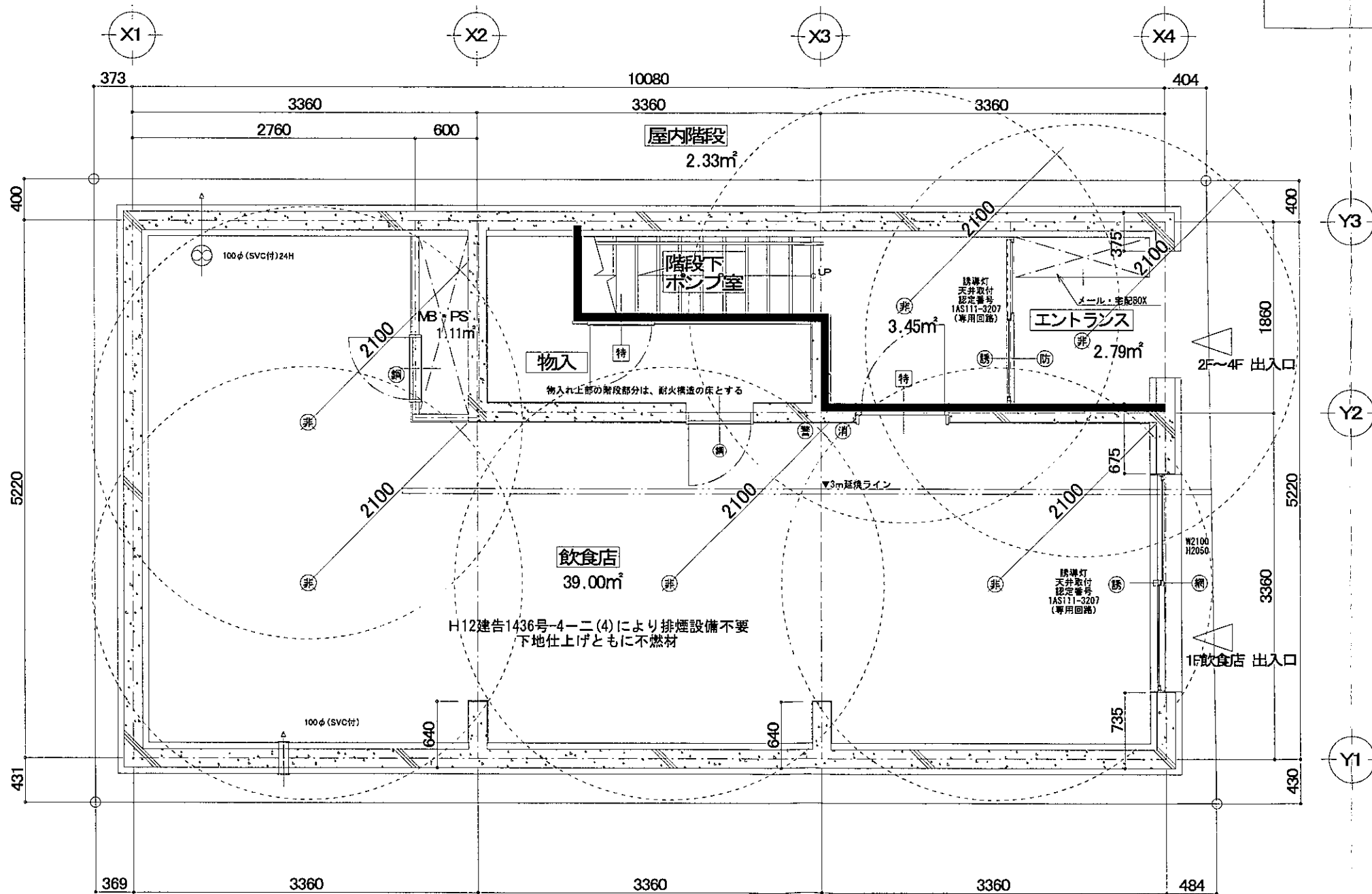
面積表

敷地面積	65.91㎡
建築面積 ① =	52.61㎡
床面積 (1FL) ① =	52.61㎡
床面積 (2FL) ② =	52.61㎡
床面積 (3FL) ③ =	52.61㎡
床面積 (4FL) ④ =	52.61㎡
延床面積	210.44㎡
建築率 52.61/65.91×100=79.82%<100.00%	OK
容積率 210.44/65.91×100=319.28%<360.00%	OK

居室面積表

飲食店 (1FL) ① + ② =	39.00㎡
事務所 (2FL) ② + ③ + ④ =	45.25㎡
事務所 (3FL) ② + ③ + ④ =	45.25㎡
事務所 (4FL) ② + ③ + ④ =	45.25㎡

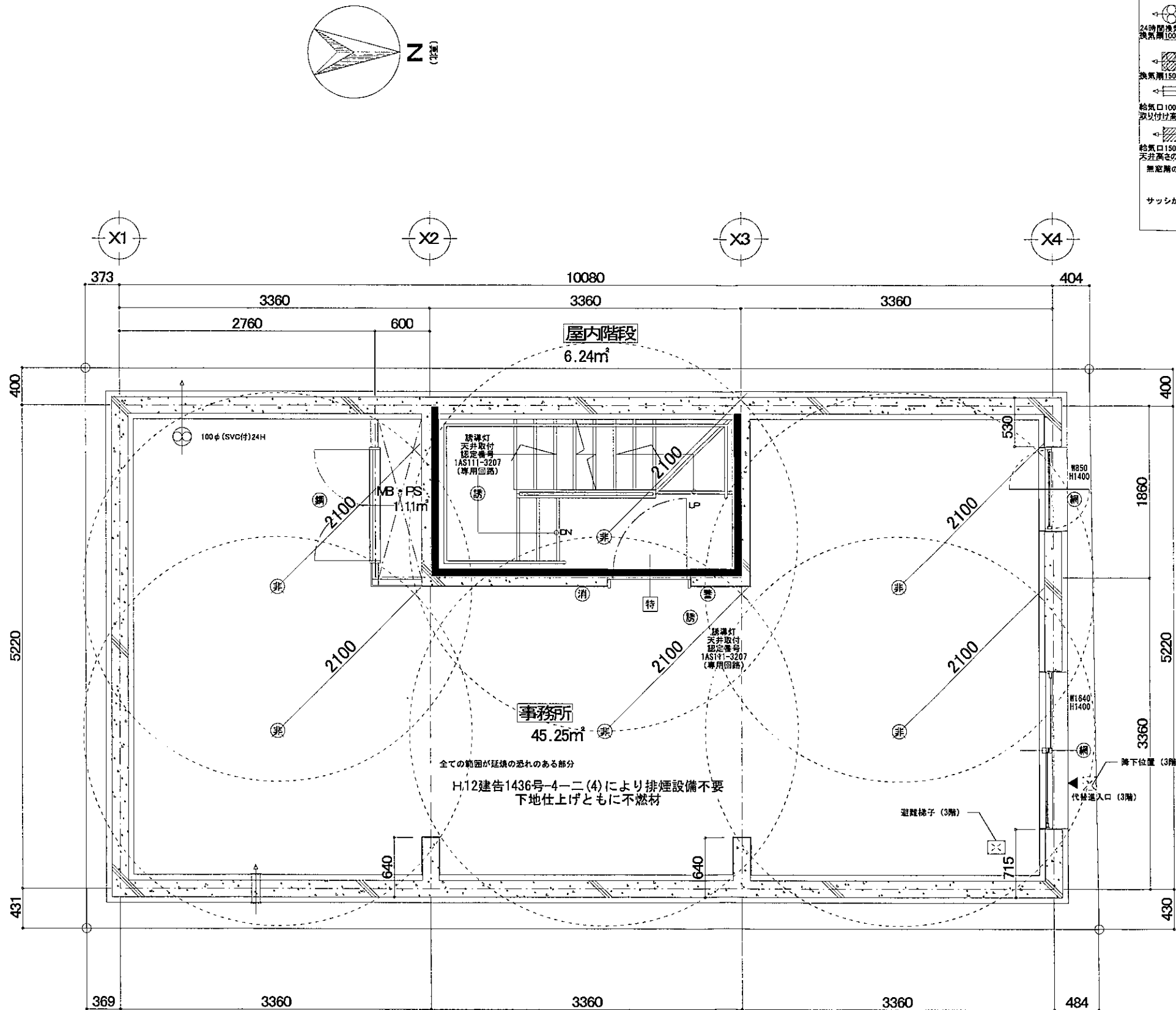




※W750H1200以上の開口部1か所のため無窓階判定とする



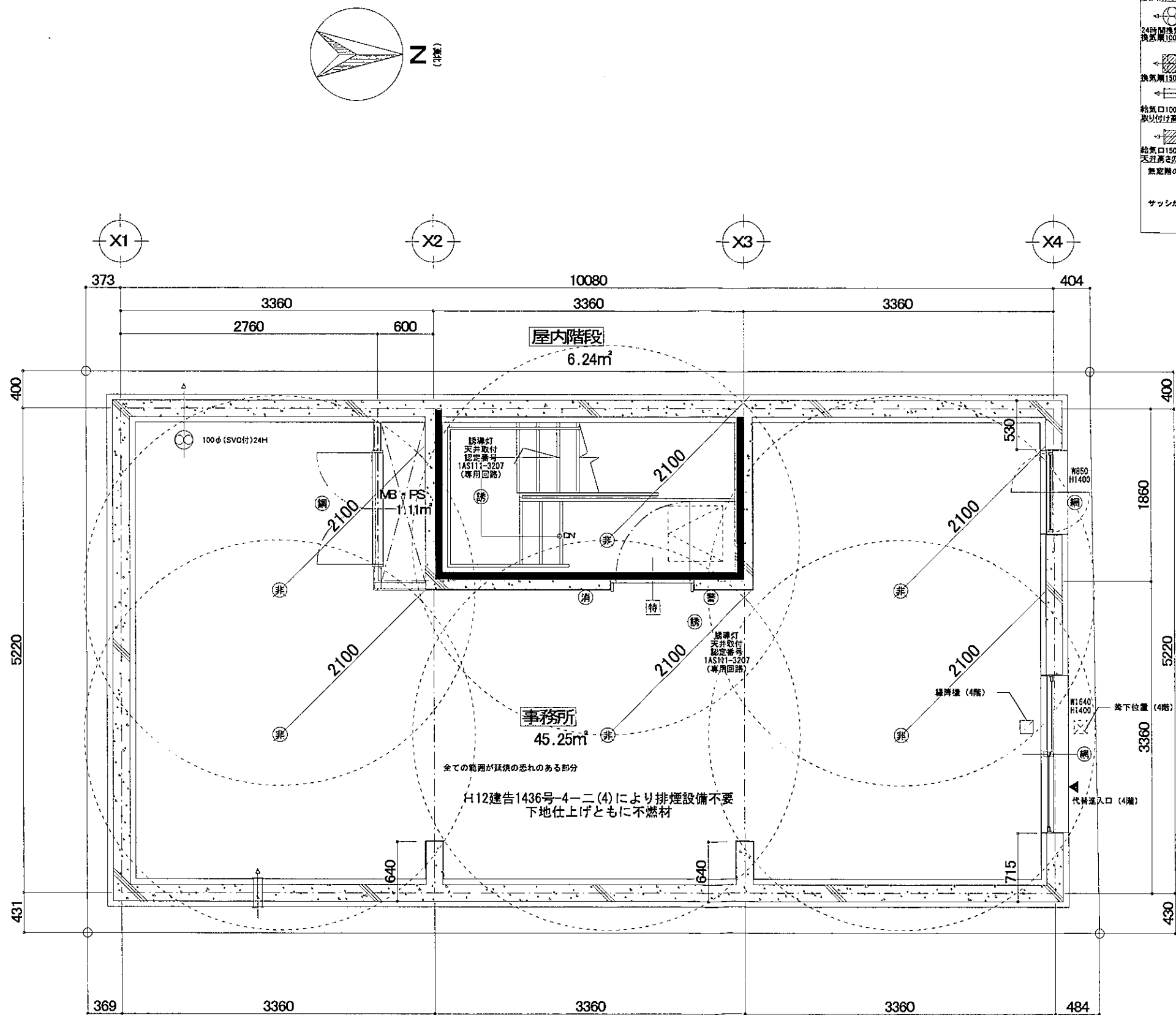
〒134-0083
東京都江戸川区中葛西1-43-12 2F
TEL 03-5830-6293 FAX 03-5830-6294



設備凡例	延焼の恐れのある部分 (1F:3m、2F~5m)
100φ (SVC付)	外壁RC壁 t180
換気扇100φ (スチールキャップ付き)	非燃性耐火間仕切壁 耐火構造認定番号 FP060N-0198 天井裏、小屋裏まで施工
100φ (SVC付)24H	常時閉鎖式特定防火設備 遮煙性能付
24時間換気用換気扇 換気扇100φ (スチールキャップ付き)	常時閉鎖式防火設備 (常閉)
150φ (FD付)	防火設備扉 (鋼製厚0.8mm以上履付き)
換気扇150φ (フアイアーバー付き)	遮煙性能付防火設備 S48 建寄第2564号
100φ (SVC付)	遮煙性能付防火設備 大臣認定 GAS-0520
給気口100φ (スチールキャップ付き) 取付け高さ FL+1.000	防火設備
150φ (FD付)	防火設備 (納入サイズ t=6.8) 認定番号: EB-3102・EB-3107・EB9101
換気口150φ (フアイアーバー付き) 天井裏の1/2以下に設置	防雨24時間換気設備 納入サイズ t=6.8 (上下開口10cm以上)
無窓階の算定 (消防法施行令第10条第1項5号)	消火器 各階歩行距離20m以内に1箇所 ABC防炎10型とする
サッシが1ヶ所のため無窓階	非常用照明 (大臣認定品) 電池内蔵型常時点灯 非常時点灯 認定番号: LALE-027
	自動火災報知器 (煙式)
	自動火災報知器 (熱式)
	主要な出入口 (数地内通過幅有効2000以上)
	非常要報設備 音響装置は全階一斉鳴動 専用回路 型式番号: 総経非第1.3~3.7号 運動用配線は耐熱配線 (H.P.)
屋内直通階段	
階段 RC造 (2F-3F)	
階高 2,700 mm	
段数 15	
蹴上 180 mm	
踏面 250 mm	
幅員 760.5 mm	
手摺 H900	
天井板 有効開口 W600×H800以上 天井板 t=5 両面表示シール貼	
避難ハッチ (有効開口580×600)	避難梯子 (3F半固定式)
	避難機 (4F)
	降下位置
雨水排水溝 雨水排水溝 雨水排水溝 雨水排水溝	雨水排水溝 雨水排水溝
幅 75	幅 75
代替出入口 開口有効W750×H1200以上 開口下縁は FL+1200以下	
自動火災報知設備 (キッチン部熱感知、その他は煙感知)	
界壁となる部分 (S.45 建寄第1827号)	
特定防火設備の構造	
1. 骨組を鉄製とし、両面にそれぞれ厚さが0.5mm以上の鉄板を張った構造とする	
2. 防火ダンパー付の場合は、鉄製で鉄板の厚さが1.5mm以上の防火戸又は防火ダンパーとする。	
3. 戸当を設け、戸と枠に隙間の生じない構造とする。	
4. ドアチェックはストップ機能なしとする。	
5. 寸法: 玄関ドアはW800×H1900、その他は平面図中に記載。	
+100 設計図からの仕上天端	
+50 設計図からの3階天端	
防火設備の構造	
1. 鉄製で鉄板の厚さが0.8mm以上 1.5mm未満とする。	
2. 戸当を設け、戸と枠に隙間の生じない構造とする。	
3. ドアチェックはストップ機能なしとする。	

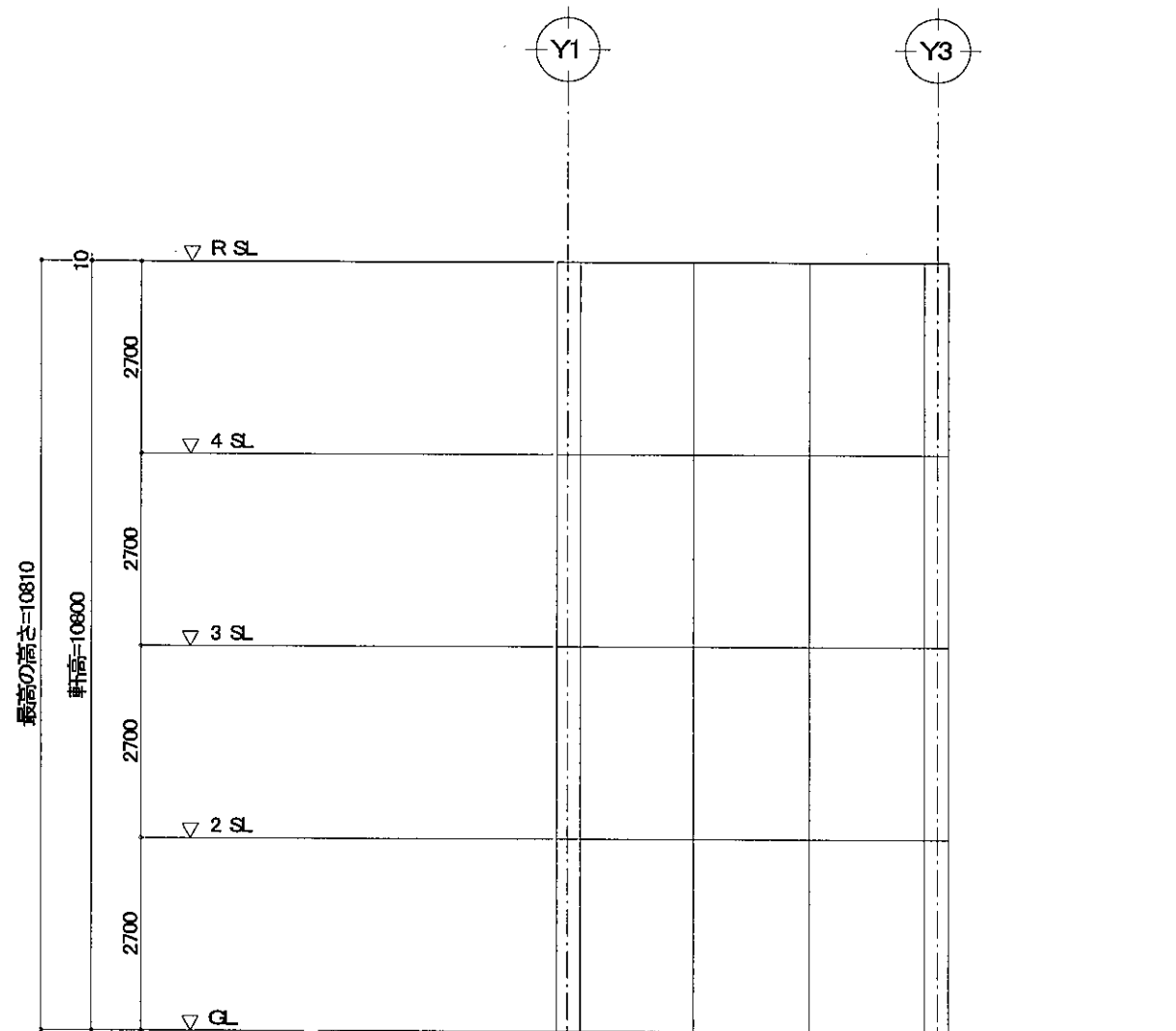
※W750H1200以上の開口部1ヶ所のため無窓階判定とする





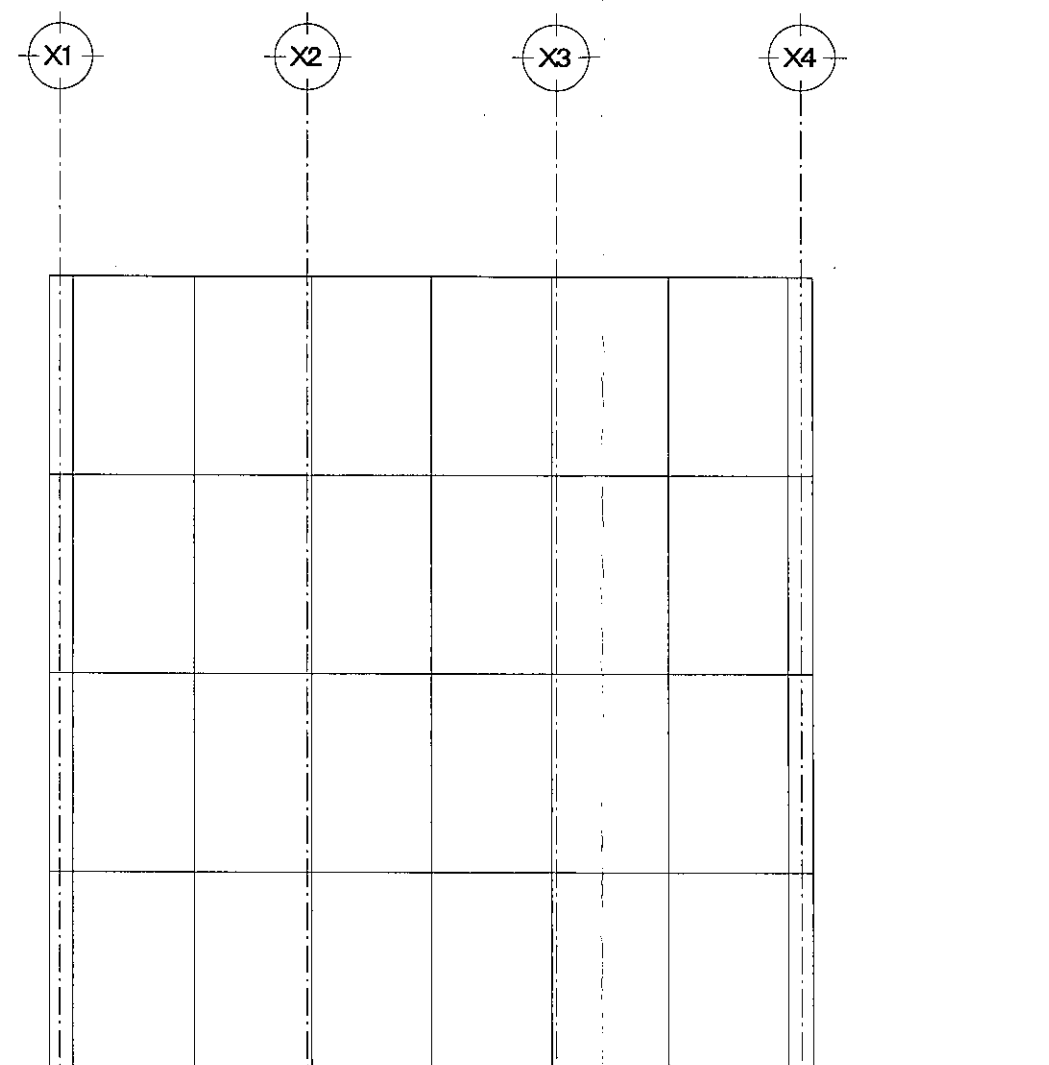
設備凡例	延焼の恐れのある部分 (1F:3m、2F~5m)
100φ (SVC付)	外壁RC壁 t180
換気扇100φ (スチールパン) キヤブ付き	昇降道耐火仕切壁 耐火構造認定番号 EF900N-0198 天井裏、小部屋まで施工
100φ (SVC付) 24H	特 常時閉鎖式特定防火設備 遮煙性能付
24時間換気用換気扇 換気扇100φ (スチールパン) キヤブ付き	防 常時閉鎖式防火設備 (常閉)
150φ (FD付)	鋼 防火設備 (鋼製厚0.8mm以上鋼付者)
換気扇150φ (ファイアダンパー) 付き	煙 遮煙性能付防火設備 S48、遮煙第2584号 遮煙性能付防火設備 大気認定 CAS-0520
100φ (SVC付)	防 防火設備
給気口100φ (スチールパン) キヤブ付き 取り付け高さ FL+1.600	鋼 防火設備 (鋼入8'52 t=6.8) 認定番号: EF-9102・EF-9107・EF9101
150φ (FD付)	AS 防雨サッシ (7'43 鉄枠・鋼入り型) 52 t=6.8 (上下開口10cm以上)
給気口150φ (ファイアダンパー) 付き 天井裏との1/2以下に設置	消 消火器 各階歩行距離20m以内に1箇所 ABC粉末10型とする
無窓階の算定 (消防法施行令第10条第1項5号)	非 非常用照明 (大臣認定品) 電池内蔵型常時点灯 非常時点灯 認定番号: LALF-027
サッシが1ヶ所のため無窓階	煙 自動火災報知器 (煙式)
	熱 自動火災報知器 (熱式)
	▲ 主要な出入口 (敷地内通路幅有効2000以上)
	警 非常警報設備 警報装置は全館一斉鳴動 専用回路 型式番号: 総研非警1.3~9.7号 運動用配線は耐熱配線 (HP)
屋内直通階段	
階段 RC造 (3F~4F)	
幅 2,700 mm	
高さ 15 mm	
段数 178 mm	
蹴上 220 mm	
幅員 760.5 mm	
手摺 H900	
n' n'-隔板 有効開口 W600×H800以上 付加板 t=5 両面表示4ヶ所	
避難ハッチ (有効開口580×600)	避難梯子 (2F半固定式)
	避難梯 (4F)
	降下位置
雨水例・雨水排水溝 付加板用化粧蓋	雨水例 格子蓋
幅 75 mm	幅 75 mm
材質 SUS製丸環	
代替出入口 開口有効W750×H1200以上 開口下縁は FL+1200以下	
自動火災報知設備 (キッチン部熱感知、その他は煙感知) 界壁となる部分 (S.4.5 通告第1827号)	
特定防火設備の構造	
1. 骨組を鉄製とし、両面にそれぞれ厚さが0.5mm以上の鉄板を張った構造とする	
2. 防火ダンパー付の場合は、鉄板で鉄板の厚さが1.5mm以上の防火戸又は防火ダンパーとする。	
3. 戸当を設け、戸と枠に隙間の生じない構造とする。	
4. ドアチェックはストップ機能なしとする。	
5. 寸法: 玄関ドアはW800×H1900、その他は平面図中に記載。	
消防法上の無窓階の判定	
必要開口 別欄表記	
有効開口 別欄表記	
備考 消防関係	
・避難器具は、物干し金物と干渉しないように設置する。	
・バルコニーの隔板は、714'2' 64' -1' t=4.0 有効W600×H800以上とする。	
備考	
PS・WBのスラブ貫通部分はモルタル充填とスラブにて、水平区画とする。	
コンクリートより可燃物は15cm以上離隔距離をとる。	
WB内ガスと電気が併設となる場合は火災予防条例に適合する施工方法とする。	
WBの扉は常時施錠管理をする。	
オートロック7は非常時 (停電時) 手動で開錠、手動時自閉機構付。	
令125条の2-1に適合する施錠装置の構造とする。	
住戸の玄関ドア、サッシはすべて防火設備とする。	
キッチンダクトは鋼板製スパイラルダクトの上ロックウール50mm以上を使用する。	
浴室乾燥機ダクトは特定不燃材を使用する。	
防火設備の構造	
1. 鉄板で鉄板の厚さが0.8mm以上1.5mm未満とする。	
2. 戸当を設け、戸と枠に隙間の生じない構造とする。	
3. ドアチェックはストップ機能なしとする。	

※W750H1200以上の開口部1ヶ所のため無窓階判定とする



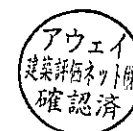
南 立面図

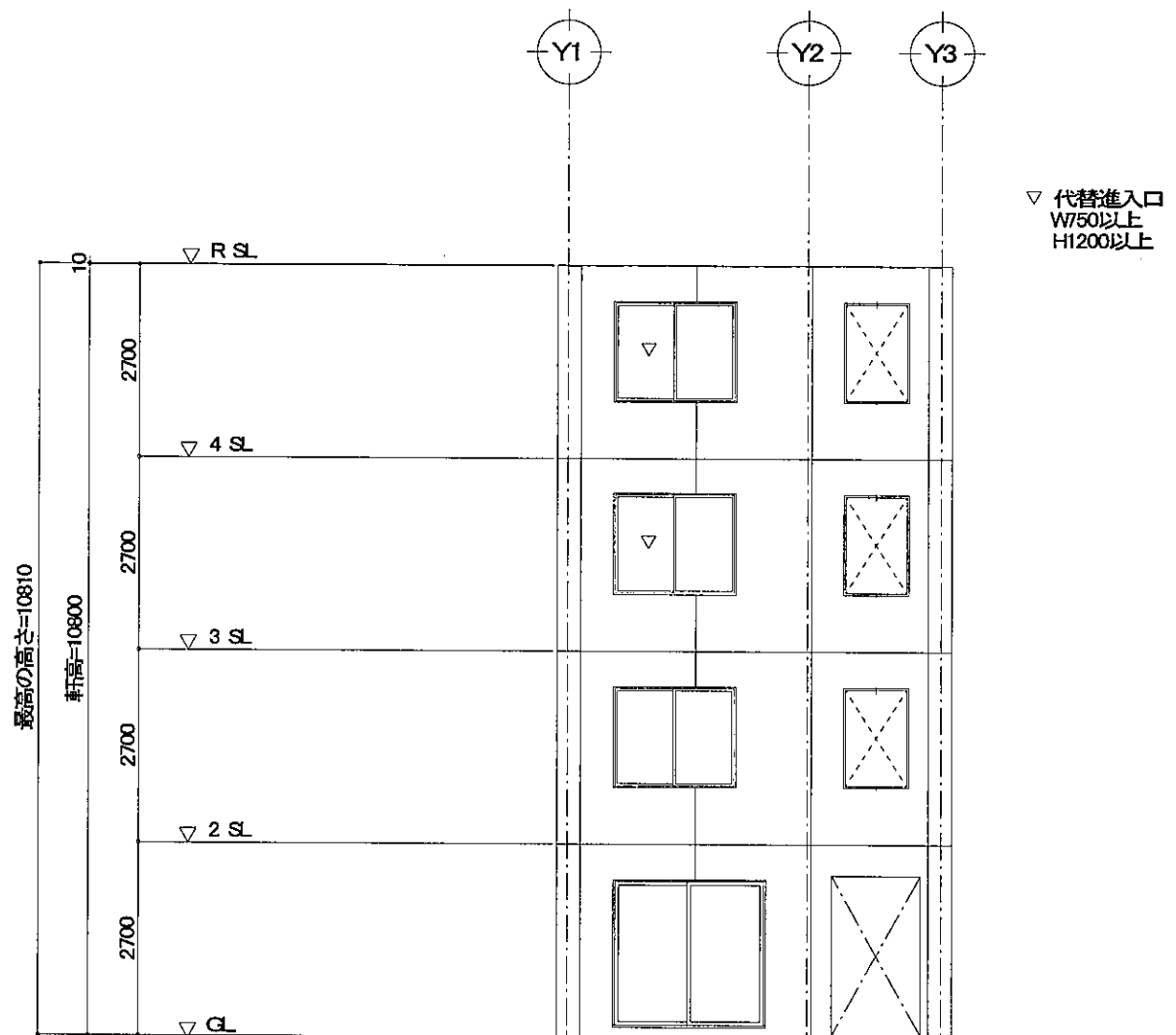
S=1/100



東 立面図

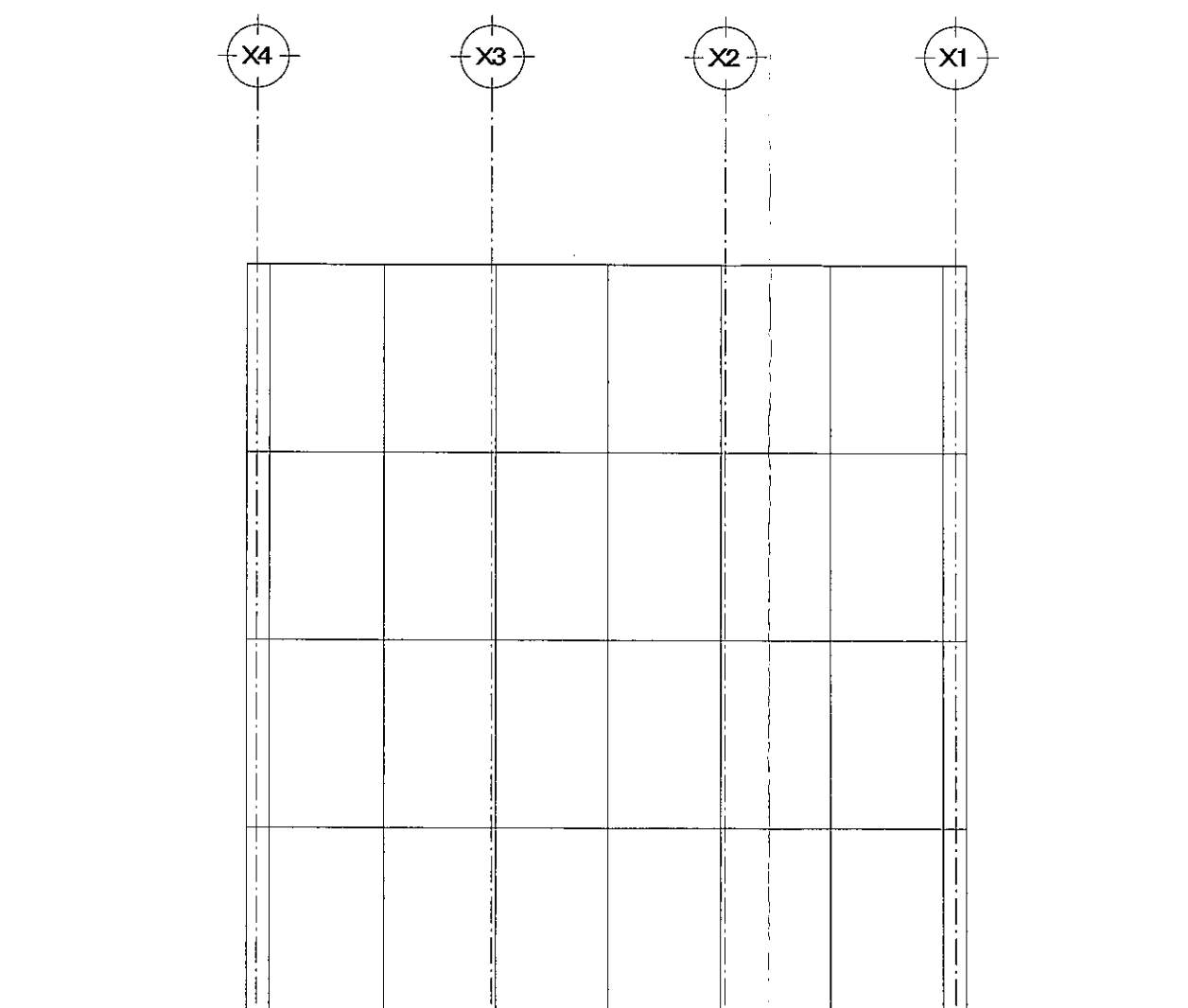
S=1/100





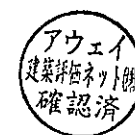
北 立面図

S=1/100



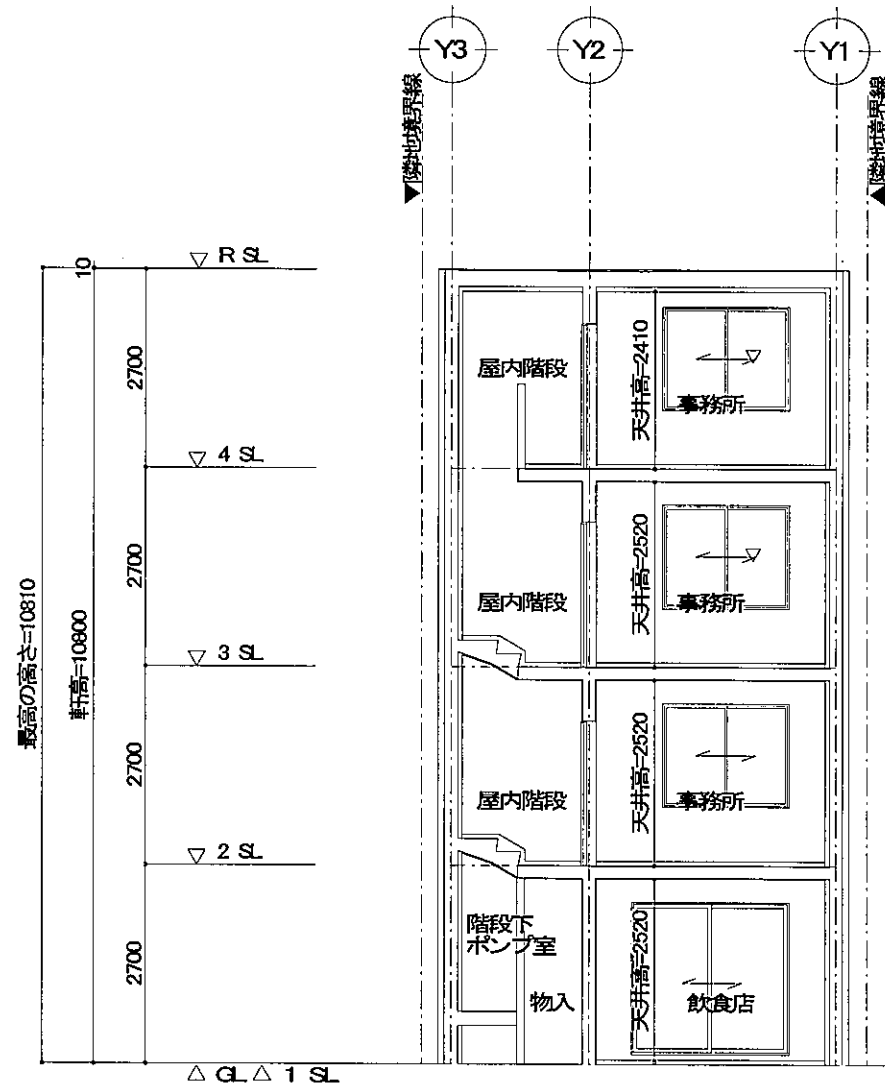
西 立面図

S=1/100

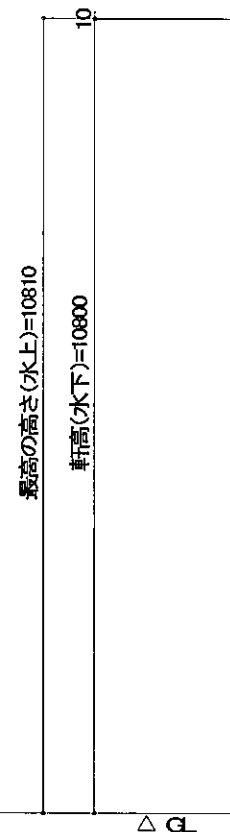


陸地斜線
最高の高さ10.81m<31mにより適合

道路斜線
天空率適用で検討



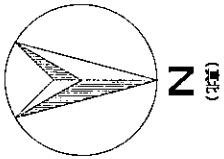
A-A 断面図 S=1/100



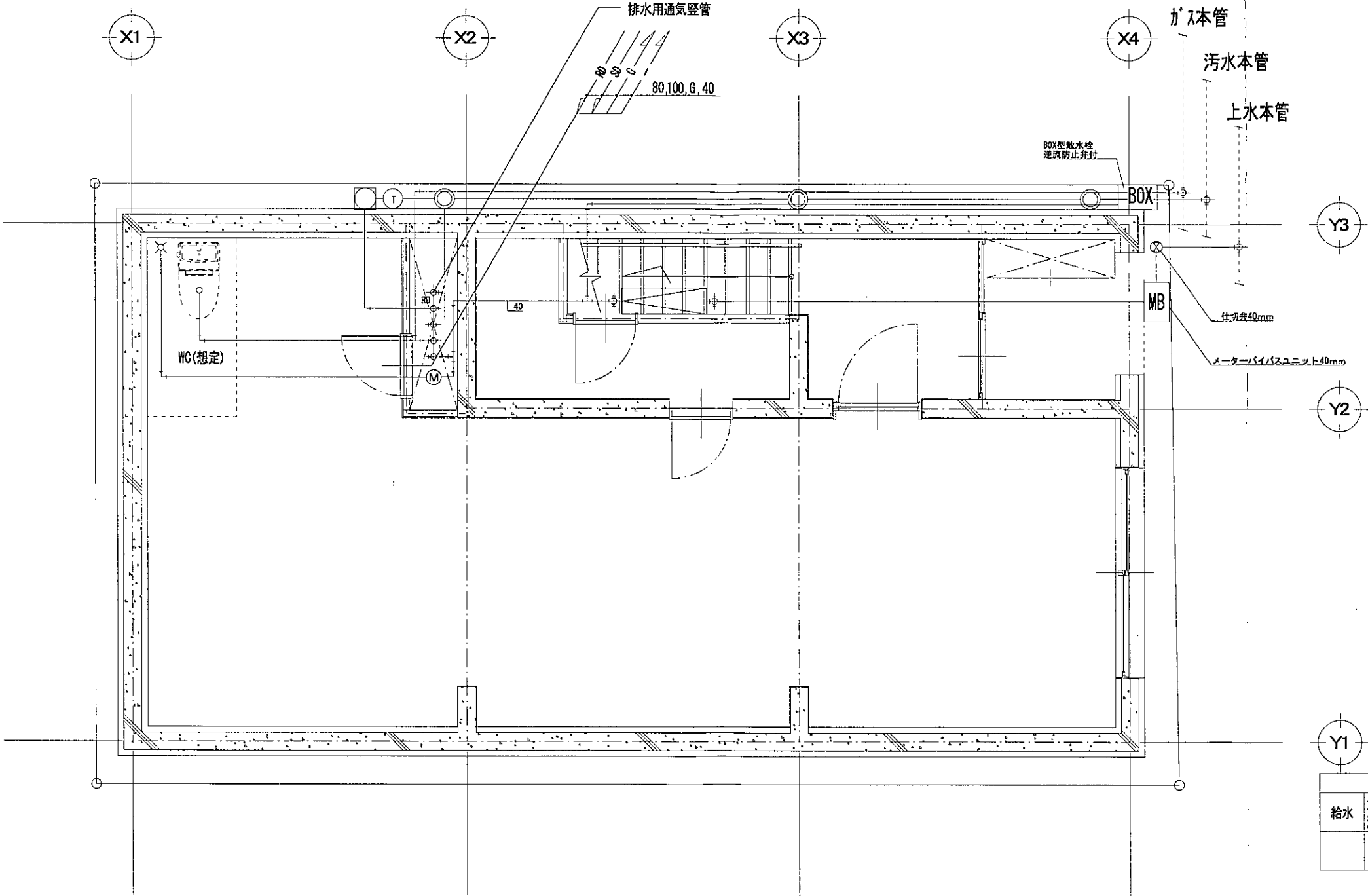
B-B 断面図 S=1/100



給水管(仕様): 耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)
給湯管(仕様): 水道用ステンレス鋼管(SUS)
ガス管(仕様): ガス会社指定
排水管(仕様): 硬質塩化ビニル管(VP)



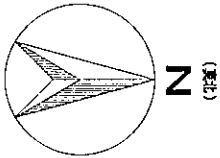
区画貫通処理、延焼防止壁貫通部(外壁貫通部はすべて)、
床スラブ貫通部すべて、不燃材以外の配管は、国交省認定材にて施工のこと。
認定材認定番号
(床) PS060FL-0721/0723同等品、(壁) PS060WL-0551/0729/0757同等品



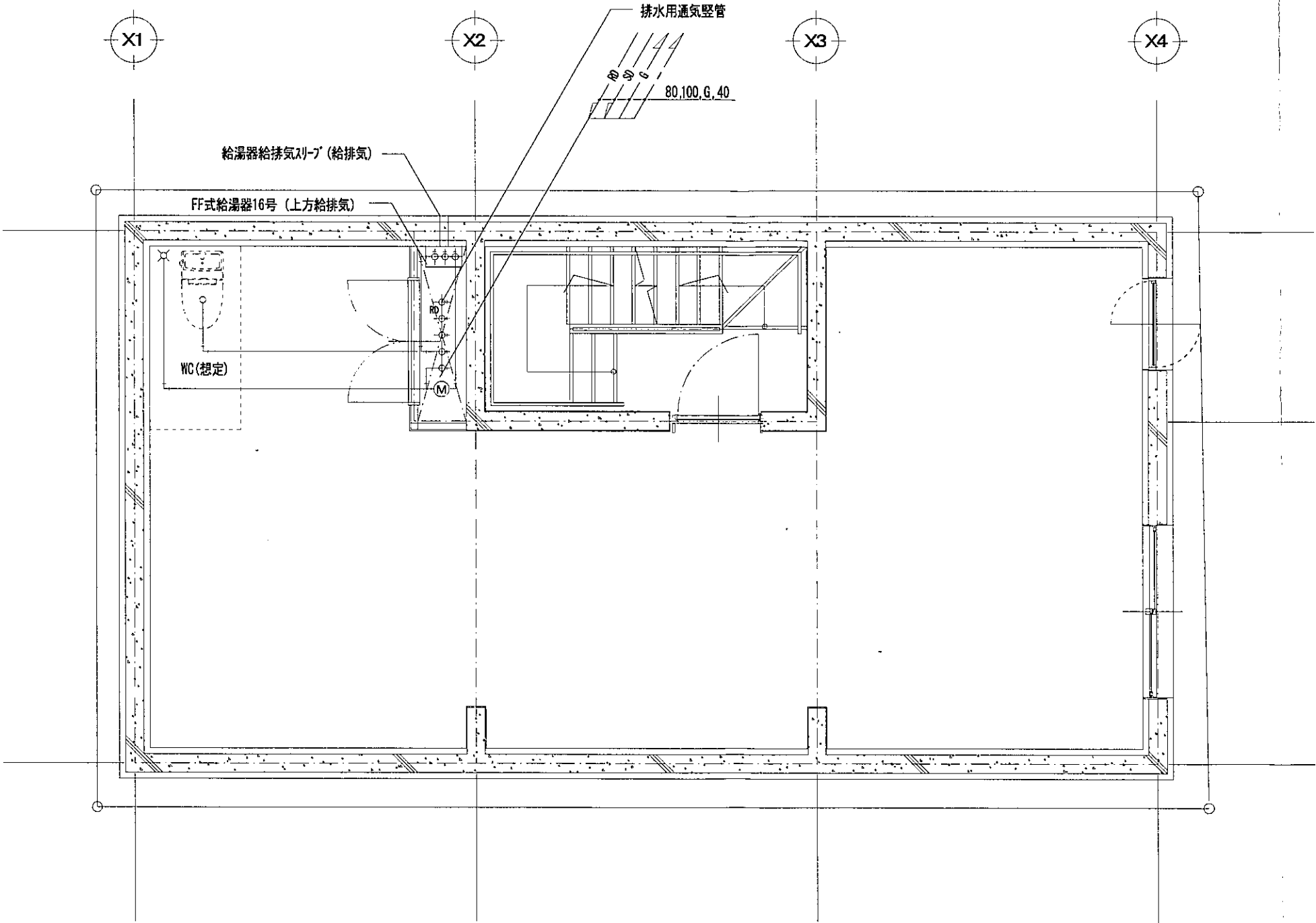
MB内 メーター類		
給水	量水器20A、止水栓 減圧弁、逆止弁、メーターユニット共	1

特記
・上水道 引込工事(本工事) 量水器(貸与品 共用)、量水器BOX(貸与品)
・下水道 引込工事(本工事) 公共樹新設
・ガス 引込工事(本工事) ガス遮断弁設置(本工事)
・ガス引込口径又は配管口径はガス供給会社と協議の上、決定のこと。
・上下水道工事は、各自治体の条例、規則等に基づき施工する事。
・上水道等の引込は現地調査、測定の上、適正な方法、口径にて水量等を確保する事。
・表記無き給水、給湯管は20A、排水枝配管は50Aとする。
・掃除口の設置位置は、監督員と協議の上、最終決定とする。
・給湯器のドレン配管は大気開放ののち、トラップを介し排水系統に接続とする。
・計測未定、決定次第に計画変更等の手続きを行う。
・設備機器については、耐震上、H12建告1388号による。

給水管(仕様):耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)
給湯管(仕様):水道用ステンレス鋼管(SUS)
ガス管(仕様):ガス会社指定
排水管(仕様):硬質塩化ビニル管(VP)



区画貫通処理、延焼防止壁貫通部(外壁貫通部はすべて)、
床スラブ貫通部すべて、不燃材以外の配管は、国交省認定材にて施工のこと。
認定材認定番号
(床) PS060FL-0721/0723同等品、(壁) PS060WL-0551/0729/0757同等品

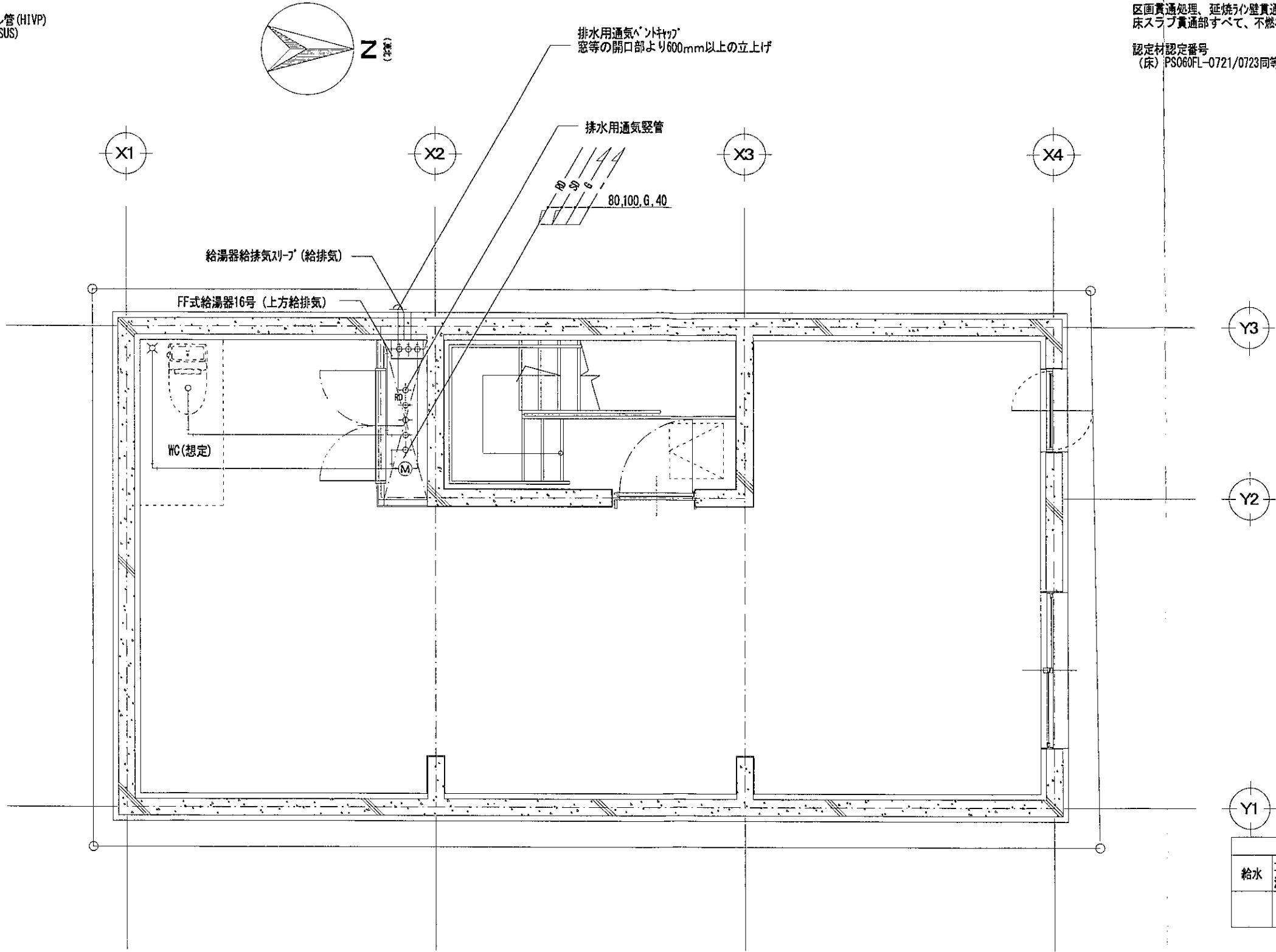


MB内 メーター類		
給水	量水器20A、止水栓	1
	減圧弁、逆止弁、メーターユニット共	

- 特記
- ・上水道 引込工事(本工事) 量水器(貸与品 共用)、量水器BOX(貸与品)
 - ・下水道 引込工事(本工事) 公共樹新設
 - ・ガス 引込工事(本工事) ガス遮断弁設置(本工事)
 - ・ガス引込口径又は配管口径はガス供給会社と協議の上、決定のこと。
 - ・上下水道工事は、各自治体の条例、規則等に基づき施工する事。
 - ・上水道等の引込は現地調査、測定の上、適正な方法、口径にて水量等を確保する事。
 - ・表記無き給水、給湯管は20A、排水枝配管は50Aとする。
 - ・掃除口の設置位置は、監督員と協議の上、最終決定とする。
 - ・給湯器のドレン配管は大気開放ののち、トラップを介し排水系統に接続とする。
 - ・計画未定、決定次第に計画変更等の手続きを行う。
 - ・設備機器については、耐震上、H12建告1388号による。

給水管(仕様):耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)
給湯管(仕様):水道用ステンレス鋼管(SUS)
ガス管(仕様):ガス会社指定
排水管(仕様):硬質塩化ビニル管(VP)

区画貫通処理、延焼防止壁貫通部(外壁貫通部はすべて)、
床スラブ貫通部すべて、不燃材以外の配管は、国交省認定材にて施工のこと。
認定材認定番号
(床) PS060FL-0721/0723同等品、(壁) PS060WL-0551/0729/0757同等品



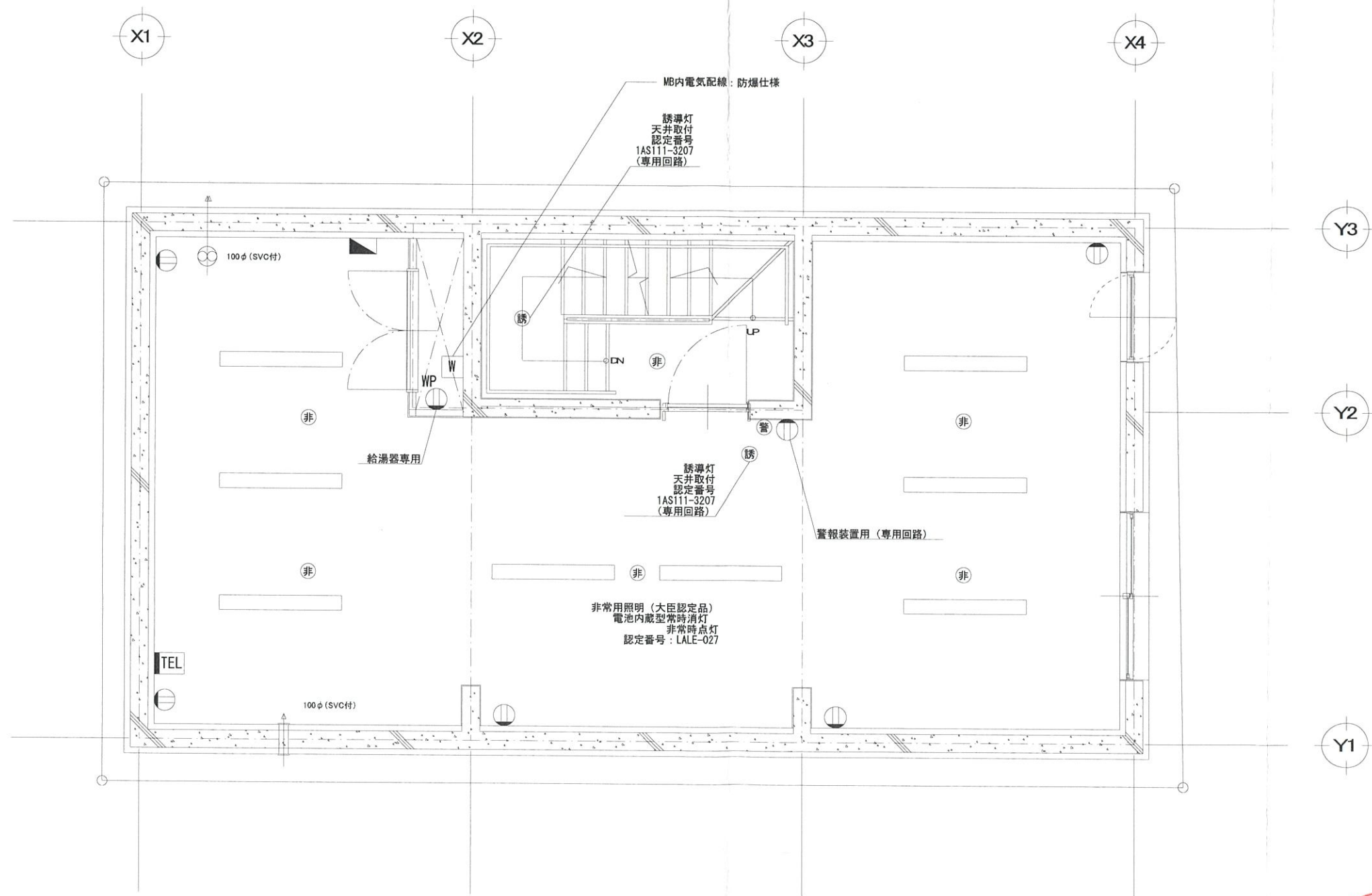
MB内 メーター類		
給水	量水器20A、止水栓	1
	減圧弁、逆止弁、メーターユニット共	

- 特記
- ・上水道 引込工事(本工事) 量水器(貸与品 共用)、量水器BOX(貸与品)
 - ・下水道 引込工事(本工事) 公共樹新設
 - ・ガス 引込工事(本工事) ガス遮断弁設置(本工事)
 - ・ガス引込口径又は配管口径はガス供給会社と協議の上、決定のこと。
 - ・上下水道工事は、各自治体の条例、規則等に基づき施工する事。
 - ・上水道等の引込は現地調査、測定の上、適正な方法、口径にて水量等を確保する事。
 - ・表記無き給水、給湯管は20A、排水枝配管は50Aとする。
 - ・掃除口の設置位置は、監督員と協議の上、最終決定とする。
 - ・給湯器のドレン配管は大気開放ののち、トラップを介し排水系統に接続とする。
 - ・天井未定、決定次第に計画変更等の手続きを行う。
 - ・設備機器については、耐震上、H12建告1388号による。



アウェイ
建築評価ネット
確認済

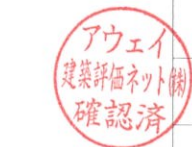
一級建築士 大臣登録 第323855号 宮田 康祐



凡例	
	オフィス用蛍光灯 (L1240W150)
	ダウンライト
	引掛けシーリング
	ペンダント
	ブラケット
	スポットライト
	フットライト
	間接照明
	アッパーライト
	スイッチ
	スイッチ (3路)
	スイッチ (調光式)
	2口コンセント
	3口コンセント
	2口コンセント (アース付)
	防水コンセント
	明暗センサー
	USBコンセント2口+1口コンセント
	自動車用充電コンセント
	インターホン
	電話
	テレビ
	光ファイバー引込元
	LAN用配線 (空配管含む)
	エアコンコンセント
* LDKエアコンコンセントは200Vを使用。	
	給湯器リモコン
	床暖房リモコン
	ジャンクションボックス
	分電盤
	電気メーター
	換気扇100φ (スチールバンドキャップ付き) 100φ (SVC付)
	24H 換気扇100φ (スチールバンドキャップ付き) 100φ (SVC付) 24時間換気用換気扇
	換気扇150φ (ファイアダンパー付き) 150φ (FD付)
	吸気口100φ (スチールバンドキャップ付き) 100φ (SVC付)
	吸気口150φ (ファイアダンパー付き) 天井高さの1/2以下に設置 150φ (FD付)
	住宅用火災報知機 (煙式)
	住宅用火災報知機 (熱式)
* 特記なき限りコンセントプレートは FL+300をプレート芯とする。	
* 特記なき限りスイッチプレートは FL+1100をプレート芯とする。	
* 給湯リモコン、インターホンは FL+1400を芯とする。	
* 引込開閉器盤から各階の分電盤及び弱電の配線は、コンクリート打込配管配線とする。	

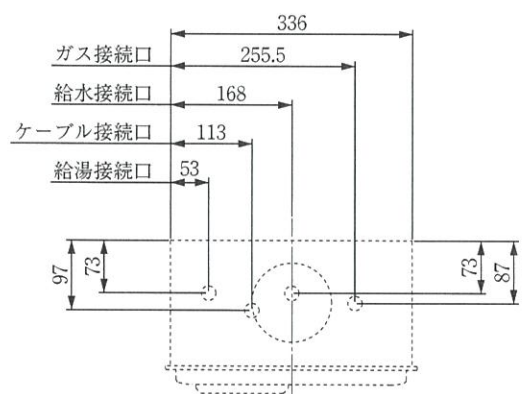
* エアコン室外機は屋上設置とする。冷媒管は、延焼範囲内で外壁を貫通する部分を耐火バテ等で穴埋めする。



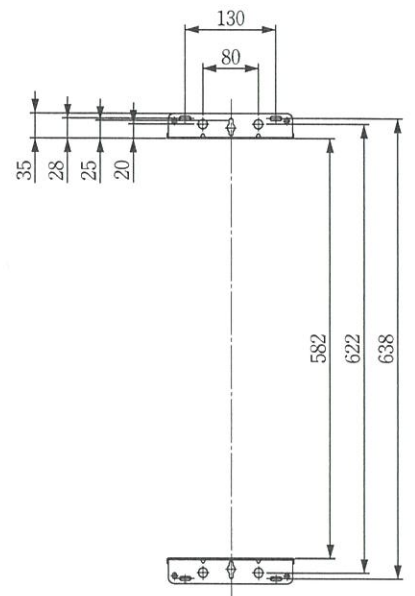
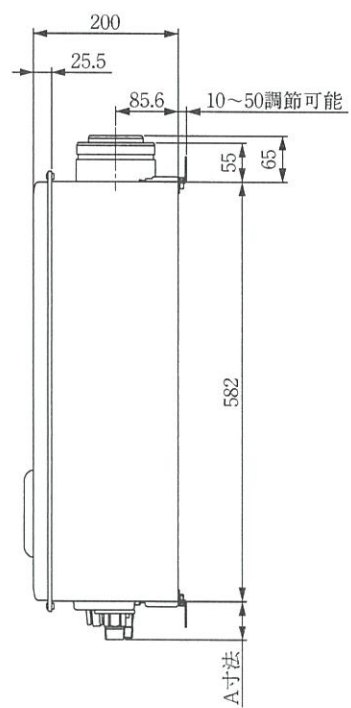
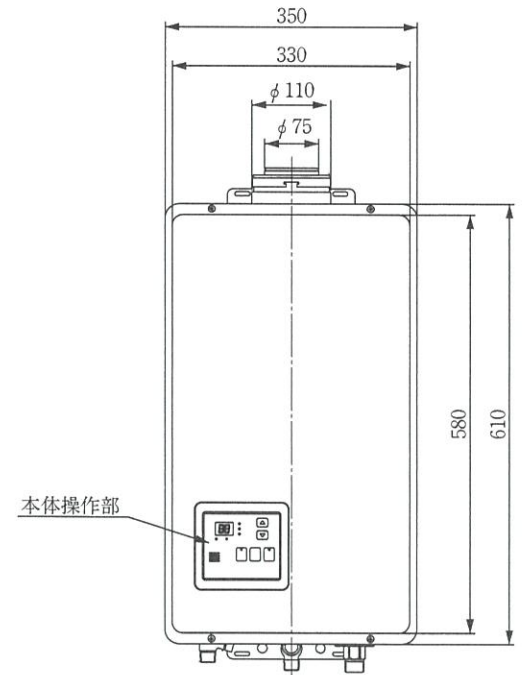


* エアコン室外機は屋上設置とする。冷媒管は、延焼範囲内で外壁を貫通する部分を耐火バテ等で穴埋めする。

(上方からの透視図)



	A寸法(mm)
ガス	38
水	51
湯	40



■ 仕 様 表			(単位: mm)	
名		称	ガス給湯器	
型		式	RUX-V1615SFFUA(-E)	RUX-V1605SFFUA(-E)
設 置 方		式	屋内壁掛式(後面近接設置型・上方給排気接続)	
給 排 気 方		式	強制給排気(FF2重管)式, 最大給排気延長(φ110×φ75)7m4曲り	
寸 法 (mm)	高	さ	610	
	幅		350	
	奥	行	200	
質 量 (kg)			20	
点 火 方 式			連続スパークダイレクト点火	
※ガス 消 費 量 (kW)			34.9～6.40 (30,000～5,500kcal/h)	
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率			82.0%	
騒 音 値 (dB(A))			48	
排 気 温 度			260℃以下	
安 全 装 置			立消え安全装置, 空だき防止装置, 器体過熱防止装置, 過電流防止装置, 過圧防止安全装置, ファン回転検出装置, 漏電安全装置, 沸騰防止装置, 熱交換器過熱防止装置, 不完全燃焼検知機能(一酸化炭素濃度検出装置)	
凍 結 予 防			凍結予防ヒータ(74W)	
接 続 口 径	ガ ス		15A (R1/2)	
	給 水		15A (R1/2)	20A (R3/4)
	給 湯		15A (R1/2)	20A (R3/4)
	電 気		ゴムブッシュ	
電 源			AC100V (50-60Hz共用) 電源ケーブル長さ1.8m	
※消 費 電 力 (W)			44 (50-60Hz) 待機時2.0W (1.5W一酸化炭素濃度検出装置分除く)	
本 体 外 装 色			ユーロホワイト(近似色: マンセルNo.52.9Y/4.0)	
付 属 品			本ネジセット, ビスセット	
別 売 品			浴室リモコン (BC-140V), 増設リモコン (SC-120), 配管カバー (UOP-7101(K)UW), 操作部カバーセット (RU-FFKC-V3), 給排気トップ (FFT-6U-100～800), φ110×φ75給排気部材各種, リモコンケーブル (UC-25C (27C) 各種)	

■ 能力表	
※給湯能力(号)	16~3
給湯温度調節	37℃~48℃, 50℃, 60℃, 75℃ (15段階)
自動湯はり停止機能(温度)	37℃~48℃ (12段階)
自動湯はり停止機能(水位)	60~300L (20L毎), 350L, 400L, 990L (16段階)
最低作動水量(L/分)	2.7
給湯器内圧損(kPa)	50 (0.5kgf/cm ²) (13L/分)

※印は13Aの値です。また仕様は予告なく変更する場合があります。

■ 浴槽への給湯時間 (落とし込み計算値)						
季 節	水	温	給 湯 温 度	給 湯 所 要 時 間		
				140L (1人用)	180L (1.5人用)	210L (2人用)
夏		25℃	42℃	約7.0分	約9.0分	約10.5分
春・秋		15℃	42℃	約9.5分	約12.2分	約14.1分
冬		5℃	42℃	約13.0分	約16.7分	約19.4分

〈ご注意〉上表は配管長5m, 水圧200kPaの時の時間です。配管が長くなれば所要時間も長くなります。

給水装置認証登録番号	NW1016
住宅金融支援機構承認番号	—
B L 認定番号	BLGH070510-A (-Eタイプは除く)

対応ガス種	LPG, 13A・12A
-------	--------------



リンナイ住宅機器

— 外 観 図 —

リンナイ 株式会社
名古屋市中川区福住町2番26号

名称	外形寸法図					
型式	RUX-V1615SFFUA(-E) RUX-V1605SFFUA(-E)					
図番	尺度	1/10	サイズ	A3	作成	2008.10

機械設備工事特記仕様書

工 事 名 称	(仮称) 赤羽ビル新築工事
工 事 場 所	案内図による
工 事 期 間	建築概要による。
建 物 概 要	構造 RC造 地上4階 延床面積 意匠図による。
消防令別表第一	建築概要による。

※ 設計書の優先順位

設計図書内容に明記のない場合、又は相違ある場合は原則として次の優先順位によるものとする。

- 順位 1. 質疑回答書
2. 現場説明書
3. 特記仕様書
4. 設計図面
5. 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版とする）
公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版とする）
[国土交通省大臣官房官庁営繕部監修]
6. 機械設備工事監理指針（最新版とする）
[国土交通省大臣官房官庁営繕部監修]
7. 係員と協議打ち合わせ

一般事項

- ① 本工事は、本仕様書、設計図並びに国土交通省大臣官庁官庁営繕局監修「橋梁設備工事共通仕様書」に基づき、併せて監督官庁の規定に従い、円滑にこれを遂行するものとする。
- ② 施工に際しては、担当係員の指示する様式の施工図、並びに関係書類を事前に提出し、係員の承認と指示に従って、誠実かつ迅速に施工にあたること。

- ③ 本仕様書は、仕様の大要を示すものであり、設計図と対照して、法規上、技術上当然施工すべき事項の他、軽微な変更についても、係員の指示に従って、積算金額範囲内で施工に従事すること。

- ④ 本工事に必要なる関係官庁への申請手続き、並びに立会い検査等は、請負者が遅滞なく行い、これに要する費用は請負者の負担とする。

- ⑤ 施工前に設備器具のプロット図（平面・立面・展開・天井伏せ）を作成提出の上、監督員の承諾を得ること。

提出書類

主任技術者及び現場代理人経歴書、下請業者通知書、使用資材メーカーリスト
機器製作図・施工図、完成図、工程写真、完成写真、試験成績書
機器取扱説明書、機器保証書、工事完成図のA3判縮図
風量測定表、騒音測定表
その他係員の指定するもの。
各部数並びに書式等は、監督員の指示による。

検査試験

- ① 本工事に使用する主要機器は、各製造工場において所定の検査試験を行い、現場納入の際にその成績書を添付すること。
- ② 現場での機器調整試験は、関連業者又はメーカー立会いのもとで行うこと。
- ③ 工事終了後は、係員立会いの上、各設備の検査試験を行い、不備な場合は指定期限内に交換もしくは修理をし再検査を受けること。
- ④ 主要機器で特に係員の指示するものは、製造工場において立会い検査を行う。但し、これに要する費用は請負者の負担とする。

工 事 項 目

Ⅰ 給排水衛生設備工事	
工 事 項 目	設備内容
衛生器具設備工事	○ 図示による
給水設備工事	○ 水道直結方式 ・ 高架水槽方式 ・ 受水槽方式
排水設備工事	建物内汚水、雑排水（ ・ 分流 ○ 合流 ） 1) 汚水 ・ し尿浄化槽 ○ 公共下水道 2) 雑排水 ・ し尿浄化槽 ○ 公共下水道 ・ 側溝
給湯設備工事	○ 局所 ・ セントラル
ガス設備工事	○ 都市ガス ・ 液化石油ガス
消火設備工事	○ 消火器 ・ 窒素ガス消火 ・ 屋内消火栓（ ・ 1号 ・ 2号 ） ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー消火 ・ 泡消火 ・ 粉末消火 ・ 連結散水 ・ 連結送水 ・ フード等用簡易自動消火
厨房機器設備工事	
さく井設備工事	
融雪設備工事	
エア配管設備工事	
し尿浄化槽設備工事	・ 合併処理方式

Ⅱ 空調調和設備工事	
工 事 項 目	設備内容
空調設備工事 (・ 冷 房) (・ 暖 房) (○ 冷暖房)	① 空冷ヒートポンプエアコン ・ 空冷エアコン ・ 空冷ヒートポンプチリングユニット ・ 水冷ヒートポンプ ・ ガスヒートポンプ ・ 吸収冷温水発生機 ・ 床 暖 房
ダクト設備工事	・ アングル工法 ・ コーナーボルト工法 ・ グラスロンダクト工法
給油設備工事	・ 灯 油 (第4類第二石油類) ・ A重油 (第4類第三石油類)
換気設備工事	① 一般換気扇 ・ 空調換気扇 ① シロコフファン
ダクト設備工事	① 亜鉛鉄板 ① スパイラルダクト ① アルミフレキシブルダクト
排煙設備工事	・ ダクト方式 ・ 天井チャンバー方式 ・ ダクト + 天井チャンバー併用方式
自動制御設備工事	・ 中央監視制御 ・ 個別監視制御

※ 各項目は、○ 印の付したものを適用する。

凡 例

記号	名 称	材 質	規 格	備考
—	給 水 管	■ 耐衝撃性塩ビ管 (HIVP)	JIS:K6742	
		■ 樹脂管 (架橋ポリエチレン管)	JIS:K6769	住戸
		□ 塩ビライニング鋼管 一般:VB 埋設:VDG3452		
		□ ポリ粉体ライニング鋼管 一般:PB 埋設:PD		
— — —	給 湯 管	■ 耐熱性硬質塩ビ管 (HTVP)	JIS:K6776	
		■ 樹脂管 (架橋ポリエチレン管)	JIS:K6769	住戸
		□ 耐熱塩ビライニング鋼管 (HTLP)		
		□ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS)	JIS:G3448	
—BH—	追 焚 管	■ ペ ア チ ュ ー ブ		
—GD— —WD— —RD—	汚 水 管 雑 排 水 管 雨 水 管	□ 樹脂管 (架橋ポリエチレン管 ポリブデン管)	JIS:K6769	
		■ 硬 質 塩 び 管 (V P)	JIS:K6741	
—	通 気 管	■ 耐 火 二 層 管 (T M P)		区画貫通部より1m以内の部分・・・耐火二層管
		□ 排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP)		
—	消 火 管	■ 硬 質 塩 び 管 (V P)		
		■ 耐 火 二 層 管 (T M P)		区画貫通部より1m以内の部分・・・耐火二層管
—X—	ガ ス 管	□ 配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	JIS:G3452	
		□ 圧 力 配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	JIS:G3454	
—G—	ド レ ン 管	□ 消 火 用 外 面 被 覆 鋼 管		
		□ 配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	JIS:G3452	
—D—	ガ ス 管	□ ガ ス 鉄 給 合 社 規 格 品		
		□ ガ ス 用 ポ リ エ チ レ ン 管	JIS:K6774	
—	ド レ ン 管	■ 配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	JIS:G3452	
		■ 硬 質 塩 び 管 (V P)	JIS:K6741	
—	ド レ ン 管	■ 耐 火 二 層 管 (T M P)		区画貫通部より1m以内の部分・・・耐火二層管
		□ 配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	JIS:G3452	
R	冷 媒 管	■ 冷 媒 用 被 覆 鋼 管	JIS:H3300	
⊗	仕 切 弁	J I S 10kg/cm ²		
Z	逆 止 弁	J I S 10kg/cm ² 水撃防止タイプ		
☉	水 栓・溝 栓			
☉	混 合 栓			
☉	散 水 栓	逆 止 弁 付		
□	水 栓 柱			
○+	ガ ス 栓			
☉+	ガスコンセント			
M	給水メーター			
GM	ガスメーター			
R	給湯器リモコン			
●	床上掃除口			
—H	床下掃除口			
⊙	エ ア 抜 弁			
⊙	減 圧 弁	標 準 2.0kg/cm ²		
⊙	汚 水 枳	小 口 径 塩 び 製		
⊗	雨 水 枳	泥 溜 H=150 塩 び 製		
⊗	格 子 枳	泥 溜 H=150 塩 び 製		
⊙	トラップ枳	雨 水 ト ラ ッ プ 付 枳		
公	汚水公共枳	自 治 体 仕 様 に よ る		
雨	雨水公共枳	自 治 体 仕 様 に よ る		
●	雨水浸透枳	自 治 体 仕 様 に よ る		

※ 各項目は、■印の付したものを適用する。

保温材料リスト

区 分	保温材	施工箇所	最終仕上材
給水管	ロックウール保温材	屋外露出（一般居室、廊下）	・ 緑布＋塗装 ○ ファインカーパー ・ アルミニウム板＋塗装
排水管	グラスウール保温材	機械室、倉庫、倉庫、天井内、パイプシャフト内、空腔壁中	○ アルミガラスクロス
ドレン管	ロックウール保温材	床下、雨漢内（ビット内を含む。） ※ 但し 排水管を除く。	○ 滑色アルミガラスクロス
給湯管	ロックウール保温材	屋外露出及び浴室、厨房等多湿箇所（断熱天井を除く。）	○ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム板＋塗装
温水管	グラスウール保温材	屋外露出（一般居室、廊下）	・ 緑布＋塗装 ○ ファインカーパー
冷水管	グラスウール保温材	機械室、倉庫、倉庫、天井内、パイプシャフト内、空腔壁中	○ アルミガラスクロス
膨張管		床下、雨漢内（ビット内を含む。）	○ 滑色アルミガラスクロス
		屋外露出及び浴室、厨房等多湿箇所（断熱天井を除く。）	○ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム板＋塗装
冷媒管	製造者標準品	屋外露出（一般居室、廊下）	・ 緑布＋塗装 ○ 塩ビ製化粧スリムダクト ・ アルミニウム板＋塗装
	ロックウール保温材	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中	
	グラスウール保温材	屋外露出及び浴室、厨房等多湿箇所（断熱天井を除く。）	・ ステンレス鋼板 ○ 塩ビ製化粧スリムダクト
一般ダクト	ロックウール保温材	屋外露出（一般居室、廊下）	・ カラー亜鉛鉄板
	グラスウール保温材	屋外露出（機械室、倉庫、倉庫）、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	○ アルミガラスクロス
		屋外露出及び浴室、厨房等多湿箇所（断熱天井を除く。）	○ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム板＋塗装
煙 道	ロックウール保温材	屋外露出	・ カラー亜鉛鉄板

※ 各項目は、○ 印の付したものを適用する。

消火設備 特記

- ・消防用設備の着工前に消防と協議し、その協議を優先とする。



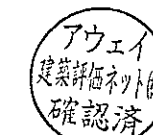
設備特記確認事項

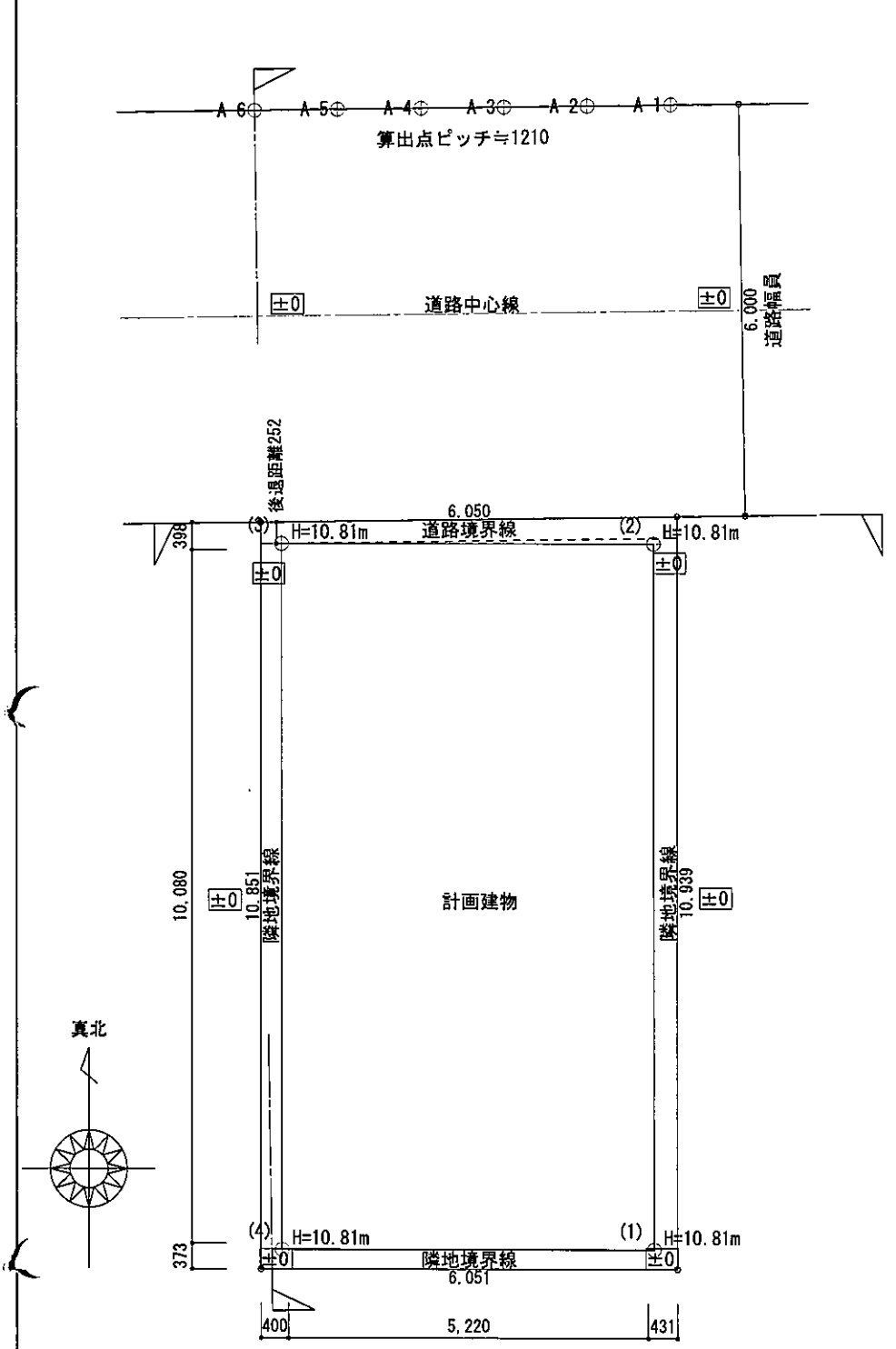
適用事項		根拠条文	適用を受ける建築物
共通	■ 建築設備の構造は、平12建告第1388号に適合すること	法36条 令129条の2の4第2号	建築設備（昇降機を除く）を設ける場合
	■ 屋上に設置される水槽・煙突・冷却塔について、平12建告第1389号に規定する構造計算に基づき設置すること	法20条 令129条の2の4第3号	法第20条1号から3号に掲げる建築物の屋上に水槽・煙突・冷却塔を設置する場合
	■ 防火区画等を通する配管・ダクトと防火区画等の隙間は、不燃材料で埋めること	法36条 令112条14項他	防火区画等が設けられる場合
	□ 圧力タンク及び給湯設備にはJIS規格に準拠した有効な安全装置を設置すること	法36条 令129条の2の5第1項	大気圧以上で使用するタンク又はボイラー等を設置する場合
	■ 火を使用する設備及び火災の発生の恐れのある設備の位置及び構造その他火災予防のために必要な措置は火災予防条例の規定に適合すること	法6条1項 令9条1号	火気使用がある場合など火災予防条例の適用を受ける場合
	■ 腐食する恐れのある部分に設置する配管設備は以下による有効な腐食防止措置を施すこと ■ 外面ライニング鋼管を使用する ■ 防食テープ、熱収縮シート、アスファルトプライマーなど	法36条 令129条の2の5第2項	土中埋設配管、屋外露出配管、多湿箇所、コンクリート埋設部等に配管設備を設ける場合
給水設備	■ 水栓には有効な吐水口空間を確保すること。（確保できない器具についてはその他の逆流防止措置について器具リスト等に明示）	法36条 令129条の2の5第2項	飲料水の配管設備を設ける場合
	■ 受水槽の構造は、令129条の2の5第2項五号及び昭50建告1597号第1第二号の規定に適合すること（マンホール、オーバーフロー管、通気管の設置など）	法36条 令129条の2の5第2項	受水槽等を設ける場合
	□ 受水槽設置スペースの浸水を検知し警報する装置を設けること	法36条 令129条の2の5第2項	最下階の床下（ピット内）に受水槽を設ける場合など
	□ 金属製の給水タンク及び貯水タンクは、飲料水を汚染しない方法による防錆措置を施すこと	法36条 令129条の2の5第2項	金属製の受水槽を設ける場合
	□ 給水管の埋設配管は凍結深度以下に埋設すること（凍結深度以上の配管、屋外露出配管については位置及び凍結防止措置を施すこと）	法36条 令129条の2の5第2項	寒冷地において飲料水の配管設備を設ける場合
	■ 給水管には以下のウォーターハンマー防止措置を行う ■ 管内流速が過大とならないよう管径を選定する ■ その他（水撃防止装置の設置など）	法36条 令129条の2の5第2項	飲料水の配管設備を設ける場合
	■ 水道法16条に規定する給水装置の構造は、同施行令5条の規定に適合すること	法6条1項 令9条7号	水道事業者より上水引込を行う場合
排水設備	■ 排水トラップの構造は昭50建告1597号第2第三号の規定に適合すること	法36条 令129条の2の5第3項	排水のための配管設備を設ける場合
	■ 通気管の構造は昭50建告1597号第2第五号の規定に適合すること	法36条 令129条の2の5第3項	排水のための配管設備を設ける場合
	□ 阻集器の構造は昭50建告1597号第2第四号に定める構造であること	法36条 令129条の2の5第3項	グリーストラップ、ガソリントラップ等を設ける場合
	□ 排水槽の構造は昭50建告1597号第2第二号の規定に適合すること（マンホール600mm、底勾配1/10～1/15、通気管単独直接屋外立上げ）	法36条 令129条の2の5第3項	地階の排水などを一時的に貯留する槽を設ける場合
	■ 排水口径は排水量に応じた有効な口径とすること。排水管（排水縦管、排水横主管の口径算定は以下の方法により算定） ■ 負荷単位法 □ 定常流量法 □ その他（ ）	法36条 令129条の2の5第3項	排水のための配管設備を設ける場合（口径算定は雨水を除く）
	■ 排水配管は有効な勾配を設けること	法36条 令129条の2の5第3項	排水のための配管設備を設ける場合
	■ 下水道法10条1項に規定する排水設備の構造は同施行令8条の規定に適合すること	法6条1項 令9条8号	公共下水道へ放流する場合
ガス設備	■ ガス栓の構造は昭56建告1099号の規定に従い、以下の構造方法とする ■ ガス栓と金属管との接合をねじ接続とする ■ 過流出安全機構を有する ■ ガス漏れ警報器	法6条1項 令9条5号	3階以上の階を共同住宅に供する建築物の住戸にガス設備を設ける場合
	□ ガス消費設備の構造は、ガス事業法施行規則202条に適合すること	法6条1項 令9条5号	都市ガスを使用する場合
	■ ガス設備の構造は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律38条の2の規定に適合すること	法6条1項 令9条11号	LPガスを使用する場合
	■ ガス設備の構造は、一般ガス保安規則52条の規定に適合すること	法6条1項 令9条4号	LPガスを使用する場合で、ボンベ方式の場合
空調・換気設備	■ 防火ダンパーの構造及び設置方法は、昭48建告2565号及び平12建告1376号に適合すること	法36条 令112条15項他	防火ダンパーを設ける場合
	■ 排気フードの構造は ■ I型フード □ II型フードとする	法28条3項 令20条の3	火を使用する設備又は器具の近くに排気フードを設ける場合
	■ 排気フードの材質は ■ 鋼製 □ SUS製 □ その他 とする	法28条3項 令20条の3	火を使用する設備又は器具の近くに排気フードを設ける場合
	■ 外気取入口並びに外気に直接開放された給気口及び排気口には雨水又はねずみ、虫、ほこりその他衛生上有害なものを防ぐための措置を行うこと	法36条 令129条の2の6	換気設備を設ける場合
	■ 換気扇を設けた、直接外気に開放された給気口又は排気口には、外気の影響が少ないウェザーカバーやベントキャップを設けること	法36条 令129条の2の6	機械換気設備を設ける場合
	□ 中央管理方式の空気調和設備の構造は昭45建告1832号に適合すること	法36条 令129条の2の6	中央管理方式の空気調和設備を設ける場合

※ 各項目は、■印の付したものを適用する。



<p>① 保温なし不燃材配管</p> <p>(a) コンクリート床</p> <p>(b) 中空壁</p> <p>1. 紙製のスリーブを使用する場合は配管施工前に撤去する。 2. 鋼管については、モルタル充填前に防食テープを施すこと。</p> <p>国土交通大臣認定 床 PS060FL-0391同等品 壁 PS060ML-0534同等品 中空床 PS060FL-0528同等品 中空壁 PS060ML-0312同等品</p>	<p>② 保温あり不燃材配管</p> <p>(a) コンクリート床</p> <p>(b) 中空壁</p> <p>1. 紙製のスリーブを使用する場合は撤去する。 2. 伸縮のある配管は保温の有無に拘らず当標準によること。(保温のない温水管、凝縮水管等) 3. ステンレス管の場合はロックウールと接触する箇所はエポキシ系塗料により絶縁すること。 4. 貫通部にグラスウールを使用する場合は所轄官庁の了解を得ること。</p> <p>■使用配管材料・保温厚 保温厚は20mm以上とする。</p>	<p>③ 保温なし樹脂管 (VP)</p> <p>(a) コンクリート床</p> <p>(b) 中空壁</p> <p>■使用可能な配管口径 (呼称寸法)</p> <table><tr><th colspan="4">配管が貫通する床、壁等の構造部分</th></tr><tr><th>防火構造</th><th>30分耐火構造</th><th>1時間耐火構造</th><th>2時間耐火構造</th></tr><tr><td>100mm</td><td>100mm</td><td>75mm</td><td>50mm</td></tr></table> <p>■使用配管材料 1. 当標準は厚肉塩ビ管 (VP管、VPW管等) に適用する。貫通部にVU管を使用してはならない。</p>	配管が貫通する床、壁等の構造部分				防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造	100mm	100mm	75mm	50mm
配管が貫通する床、壁等の構造部分														
防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造											
100mm	100mm	75mm	50mm											
<p>④ 保温あり樹脂管 (VP) (HIVP) (HTVP) (架橋ポリエチレン管)</p> <p>(a) コンクリート床</p> <p>(b) 中空壁</p> <p>■使用可能な配管口径 (呼称寸法)</p> <table><tr><th colspan="4">配管が貫通する床、壁等の構造部分</th></tr><tr><th>防火構造</th><th>30分耐火構造</th><th>1時間耐火構造</th><th>2時間耐火構造</th></tr><tr><td>100mm</td><td>100mm</td><td>75mm</td><td>50mm</td></tr></table> <p>■使用配管材料 1. 当標準は厚肉塩ビ管 (VP管、VPW管等) に適用する。貫通部にVU管を使用してはならない。 2. 保温厚は20mm以上とする。</p> <p>国土交通大臣認定 床 PS060FL-0913同等品 壁、中空壁 PS060ML-0917同等品</p>	配管が貫通する床、壁等の構造部分				防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造	100mm	100mm	75mm	50mm	<p>⑤ 硬質塩化ビニル管の使用制限</p> <p>1. 2時間耐火部分の100A以上の排水管は耐火二層管とする。 2. 2時間耐火部分の75Aの排水管は鉄板巻きとする。 3. 1時間耐火部分の100Aの排水管は鉄板巻きとする。</p>	<p>⑥ 冷媒管、ケーブル</p> <p>(a) ALG・コンクリート床</p> <p>(b) 中空壁 (木軸を含む)</p> <p>(c) ALG・コンクリート壁</p> <p>1. 国土交通省認定工法とする。</p>
配管が貫通する床、壁等の構造部分														
防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造											
100mm	100mm	75mm	50mm											
<p>⑦ 金属電線管・電線管</p> <p>(a) コンクリート床</p> <p>(b) 中空壁</p> <p>(c) コンクリート床</p> <p>(d) 中空壁</p> <p>耐火遮断耐火材 認定番号: PS060FL-0290同等品</p> <p>耐火遮断耐火材 認定番号: PS060ML-0269同等品</p> <p>耐火遮断耐火材 認定番号: PS060FL-0487同等品</p> <p>耐火遮断耐火材 認定番号: PS060ML-0785同等品</p>	<p>⑧ ダクト防火区画貫通部施工要領</p> <p>(a) 保温なし鉄板ダクト (乾式中空壁)</p> <p>(b) 保温あり鉄板ダクト (乾式中空壁)</p> <p>1. ダンパー検査口・ハンドルは壁仕上面から200mm以上露す。</p>													

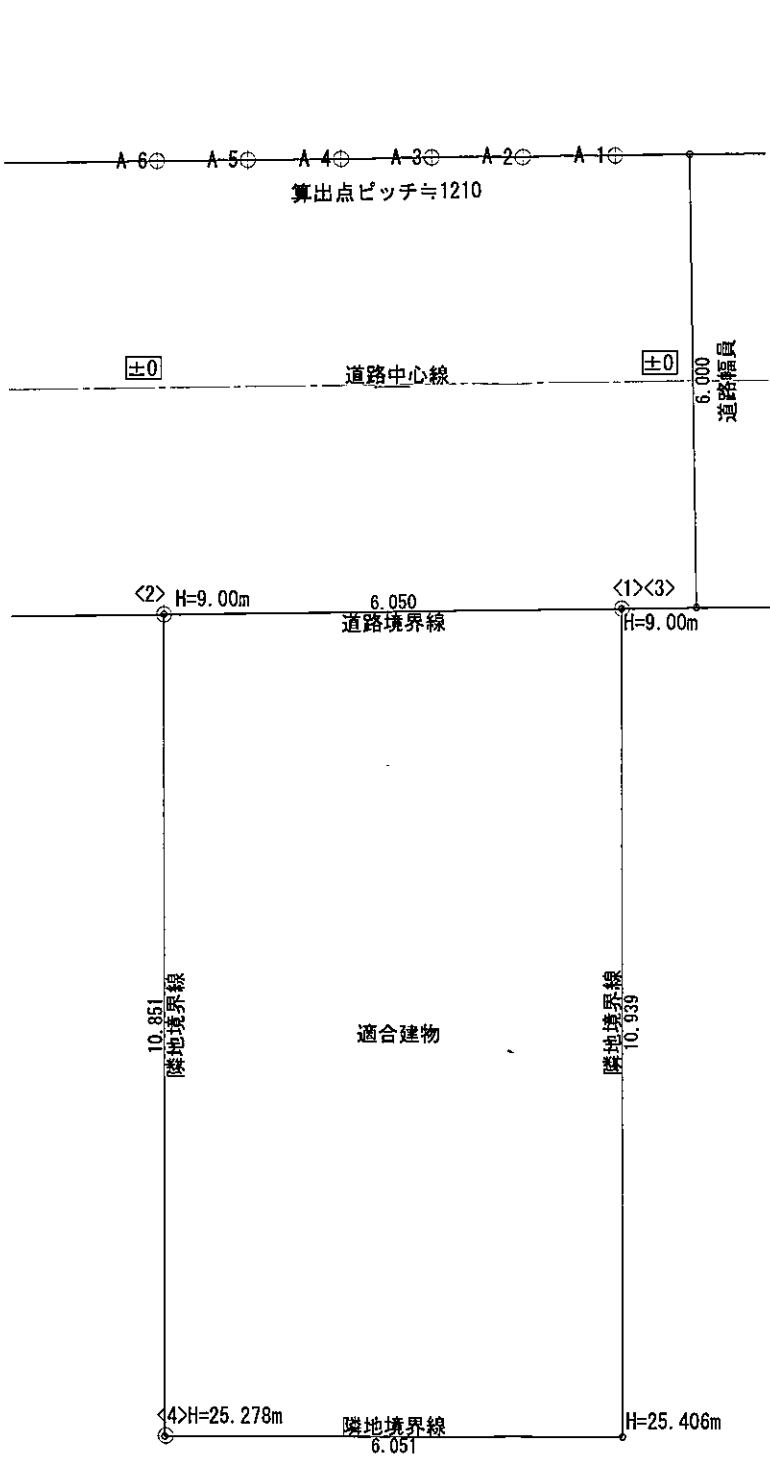




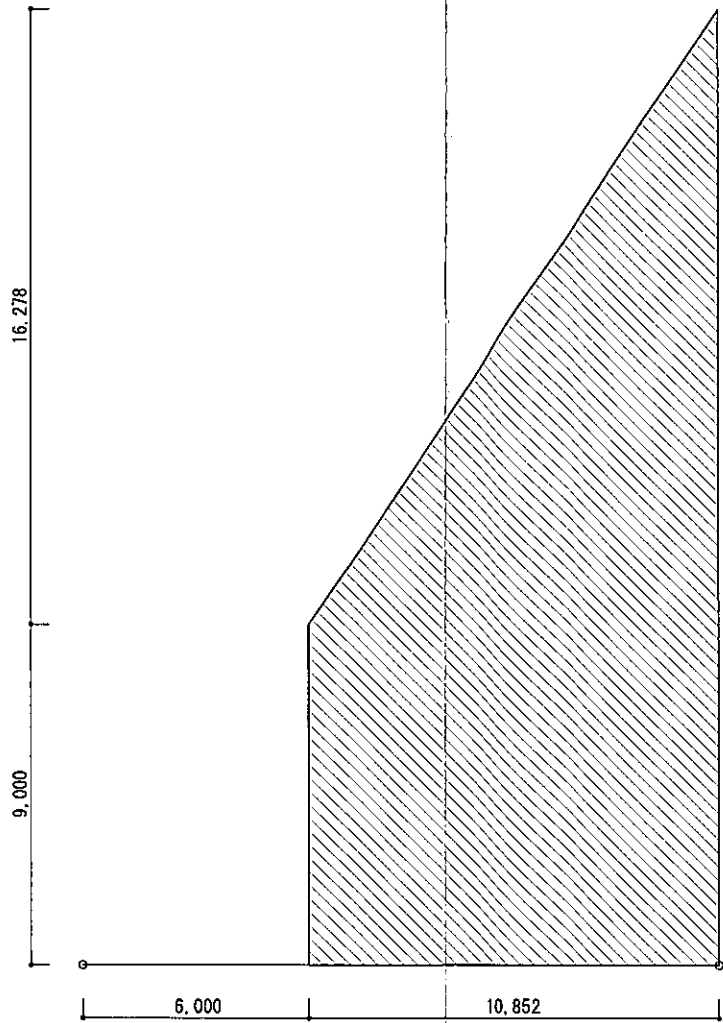
計画建物配置図 1/100

No.	算出点名称	算出点高(m)	天空率 (%)			判定
			適合	計画	差分	
1	A-1	0.000	91.94	92.15	0.21	○K
2	A-2	0.000	90.73	91.31	0.58	○K
3	A-3	0.000	90.05	90.70	0.65	○K
4	A-4	0.000	90.05	90.70	0.65	○K
5	A-5	0.000	90.73	91.31	0.58	○K
6	A-6	0.000	91.83	92.04	0.21	○K

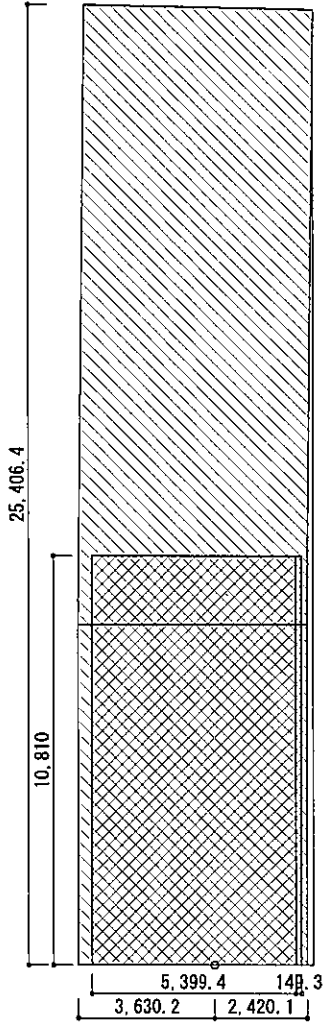
判定安全幅 0.02 %



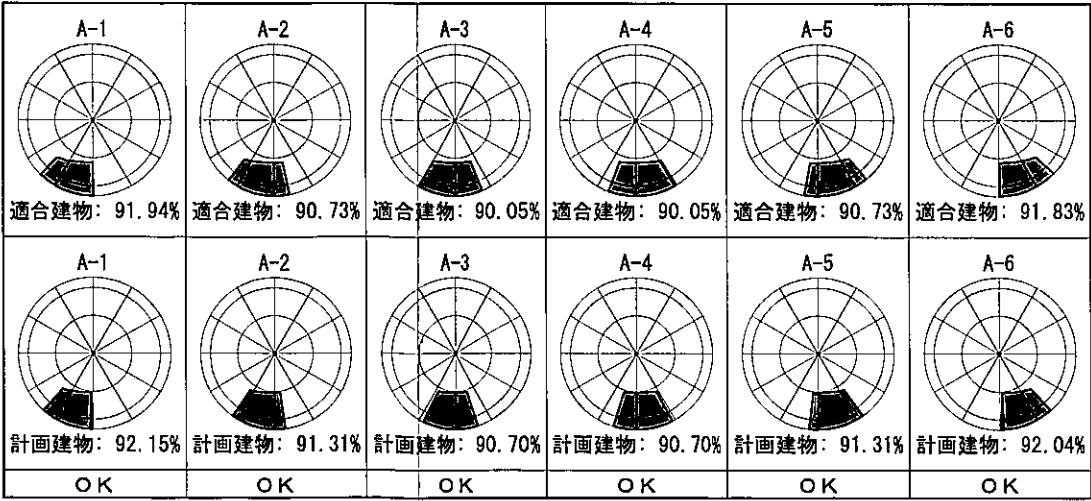
適合建物配置図 1/100

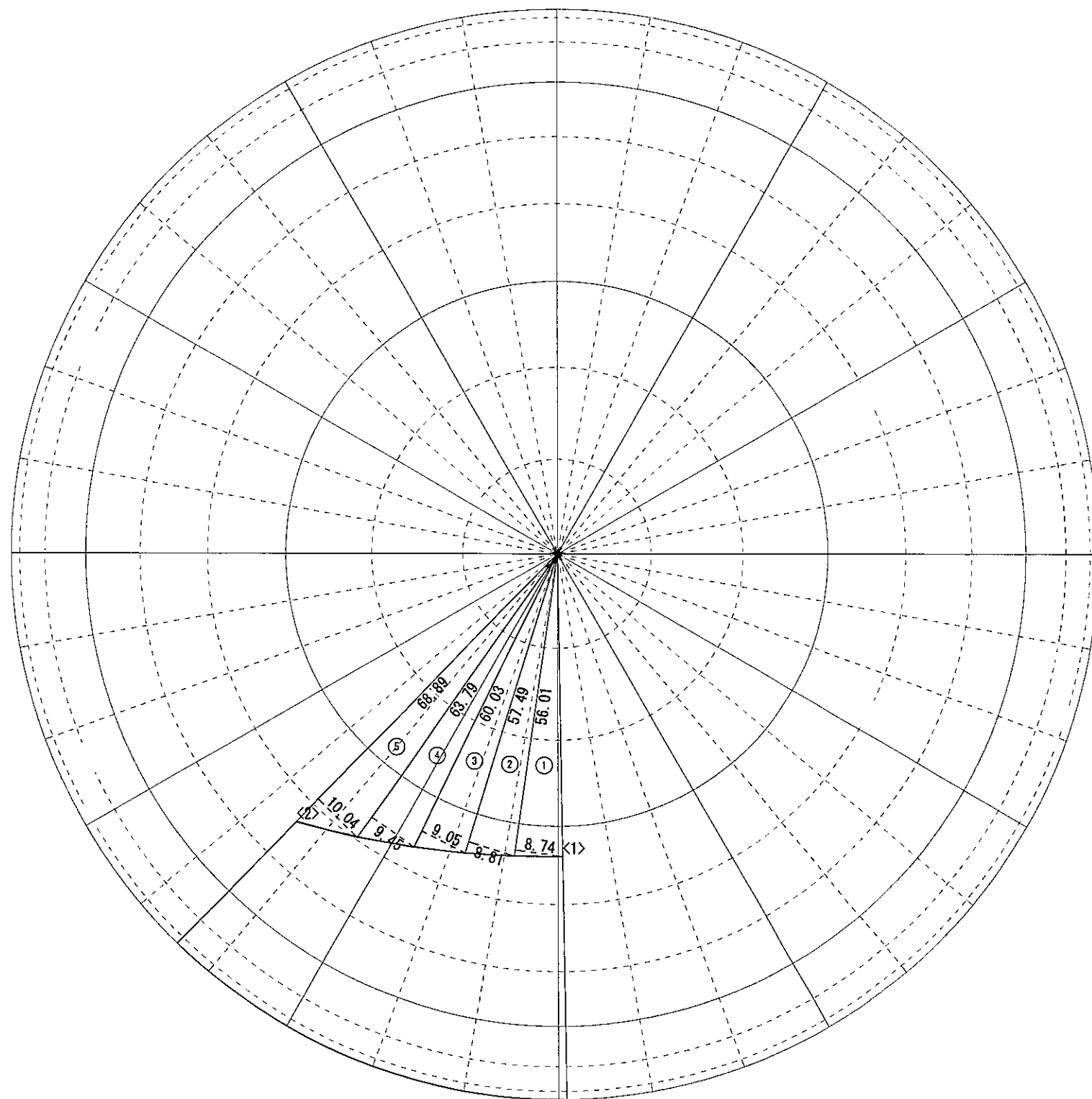


A-6 断面図 (測定高:0m) S=1/200



A-4 立面図 (測定高:0m) S=1/200





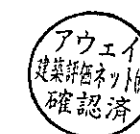
A-1
測定高:0m

適合建物正射影図位置確認表

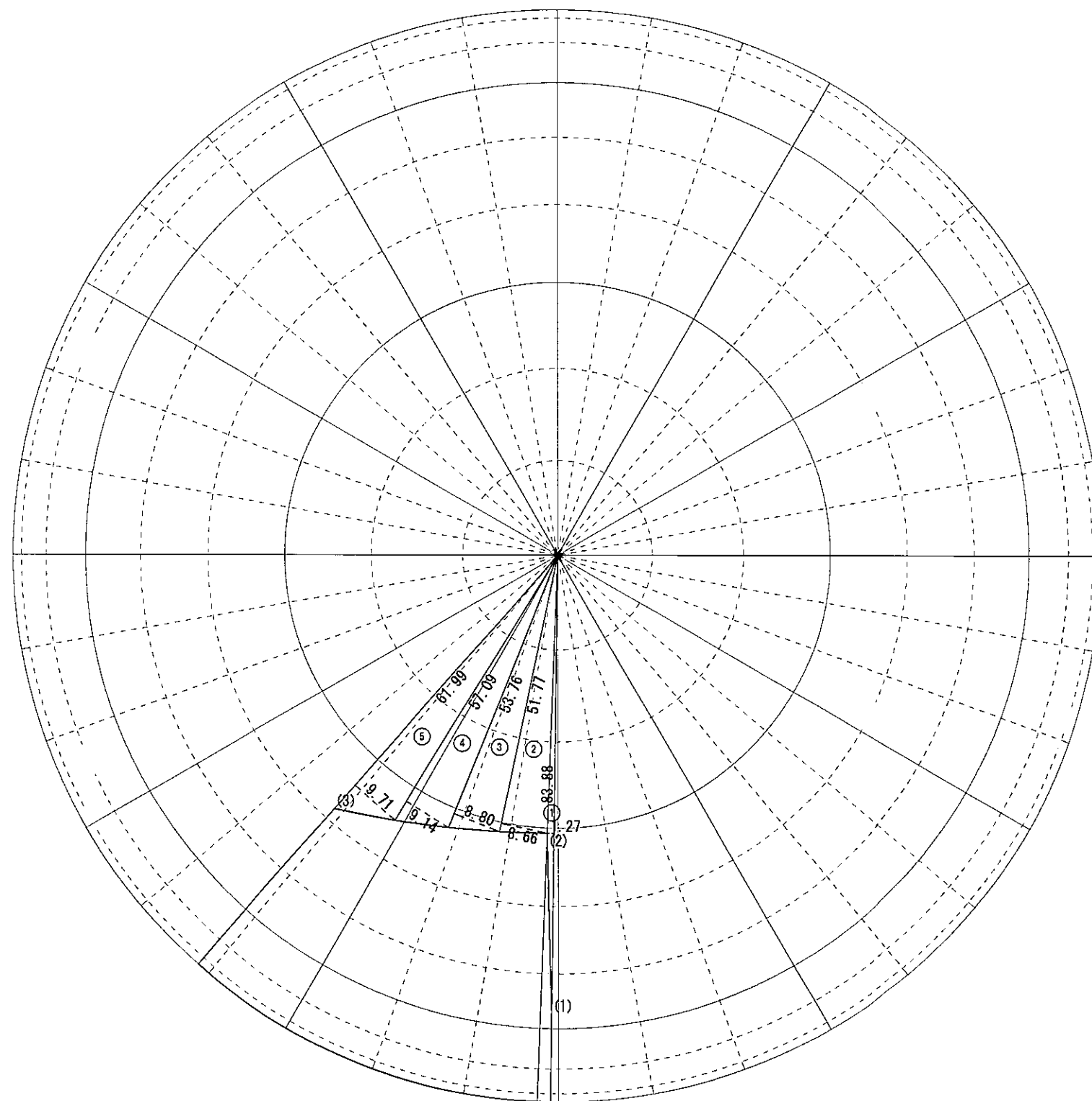
位置	配置図		天空図		
	高さ 実寸(m)	距離 実寸(m)	仰角:h (°)	方位角 (°)	r × cos(h) 図寸(mm)
<1>	9.00000	6.00000	56.3099	-0.8772	55.47
<2>	9.00000	8.52097	46.5661	44.3623	68.75

適合建物天空率算定表(図寸)

天空率算定図半径:			100.00mm
三斜面積:			
三斜No.	底辺(mm)	高さ(mm)	面積(mm2)
①	56.01	8.74	244.764
②	57.49	8.81	253.244
③	60.03	9.05	271.636
④	63.79	9.45	301.408
⑤	68.89	10.04	345.828
三斜合計面積			1416.880
扇形面積:(mm2)			
$100.00 \times 100.00 \times 3.14159265 \times 45.2395^\circ / 360^\circ$			3947.892
正射影面積:(mm2)			
$3947.892 - 1416.880$			2531.012
全天空面積:(mm2)			
$100.00 \times 100.00 \times 3.14159265$			31415.927
天空率:			
$(31415.927 - 2531.012) / 31415.927 \times 100$			91.95%



A-1
測定高:0m

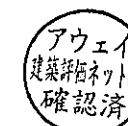


計画建物正射影図位置確認表

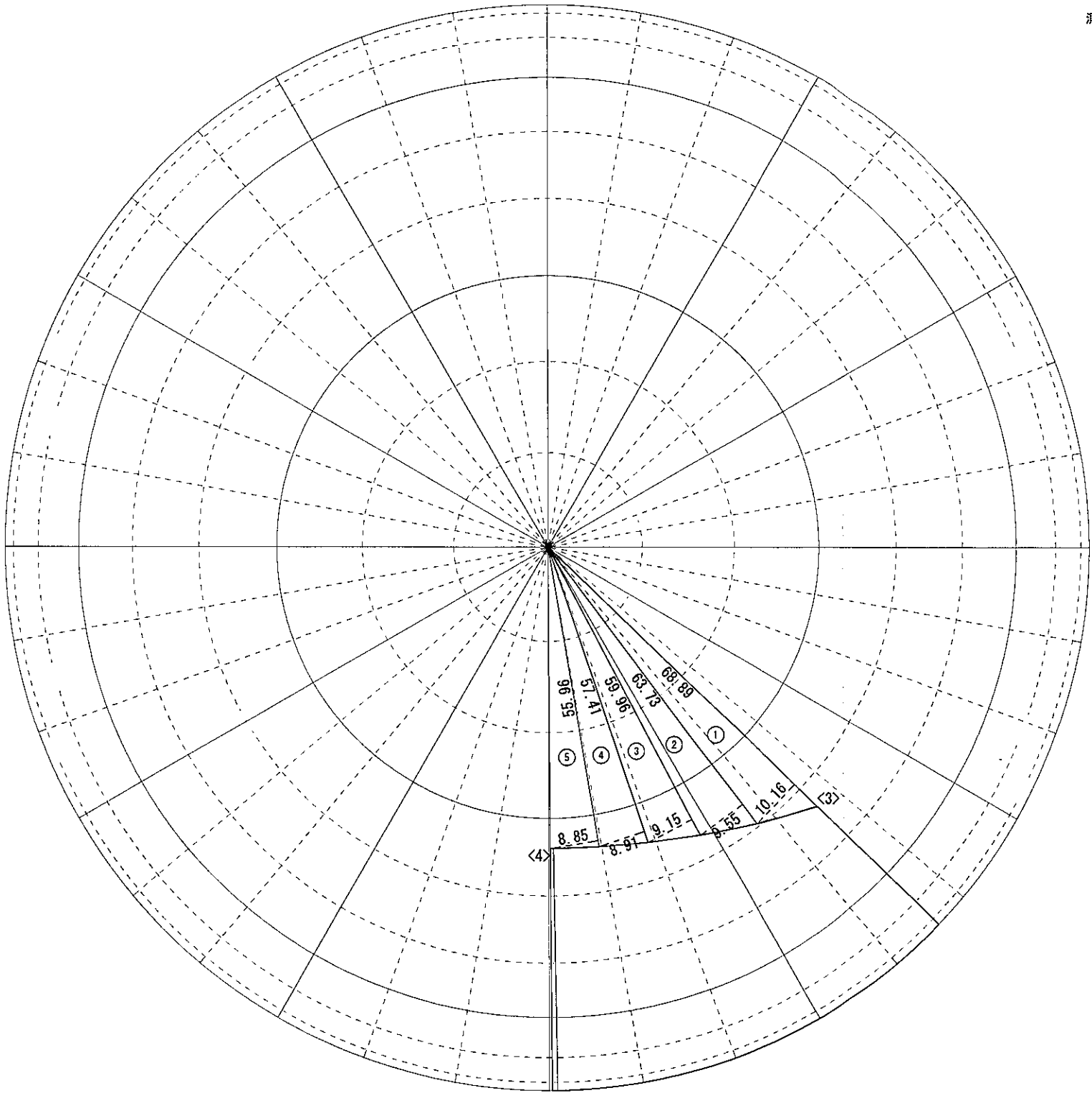
位置	配置図		天空図		
	高さ 実寸(m)	距離 実寸(m)	仰角:h (°)	方位角 (°)	r × cos(h) 図寸(mm)
(1)	10.81000	16.65729	32.9822	0.8531	83.88
(2)	10.81000	6.40056	59.3704	2.2907	50.95
(3)	10.81000	8.54065	51.6888	41.4697	61.99

計画建物天空率算定表(図寸)

天空率算定図半径:				100.00mm
三斜面積:				
三斜No.	底辺(mm)	高さ(mm)	面積(mm ²)	
①	83.88	1.27	53.263	
②	51.77	8.66	224.164	
③	53.76	8.80	236.544	
④	57.09	9.14	260.901	
⑤	61.99	9.71	300.961	
三斜合計面積				1075.833
扇形面積:(mm ²)				
100.00 × 100.00 × 3.14159265 × 40.6166° / 360°				3544.467
正射影面積:(mm ²)				
3544.467 - 1075.833				2468.634
全天空面積:(mm ²)				
100.00 × 100.00 × 3.14159265				31415.926
天空率:				
(31415.926 - 2468.634) / 31415.926 × 100				92.14 %



A-6
測定高:0m



適合建物正射影図位置確認表

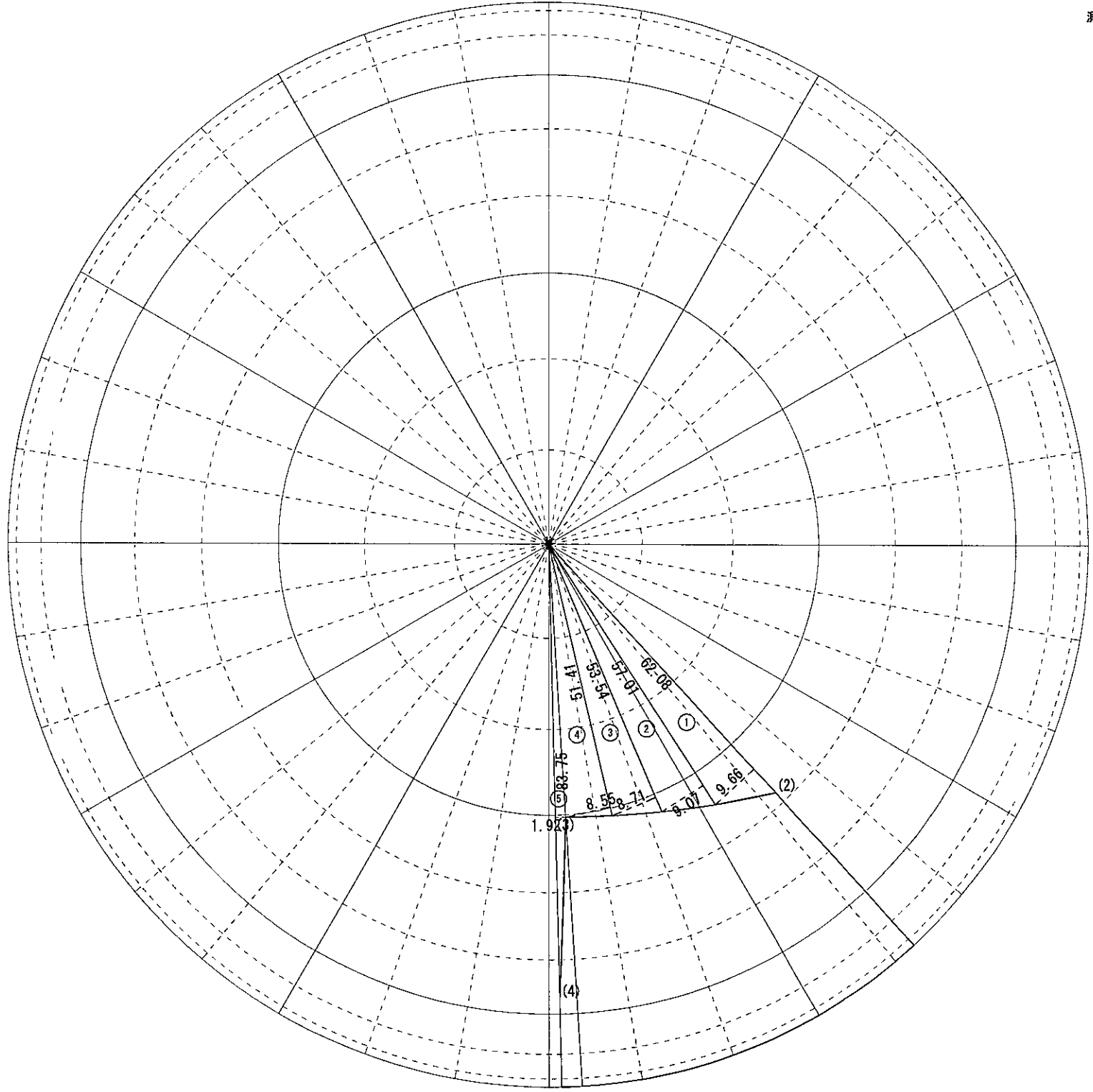
位置	配置図		天空図		
	高さ 実寸 (m)	距離 実寸 (m)	仰角:h (°)	方位角 (°)	r × cos (h) 図寸 (mm)
<3>	9.00000	8.52097	46.5661	-46.1166	68.75
<4>	25.27439	16.85041	56.3086	-0.3123	55.47

適合建物天空率算定表 (図寸)

天空座算定図半径:			100.00mm
三斜面積:			
三斜No.	底辺 (mm)	高さ (mm)	面積 (mm ²)
①	68.89	10.16	349.962
②	63.73	9.55	304.311
③	59.96	9.15	274.317
④	57.41	8.91	255.762
⑤	55.96	8.85	247.623
三斜合計面積			1431.975
扇形面積: (mm ²)			
100.00 × 100.00 × 3.14159265 × 45.8043° / 360°			3997.180
正射影面積: (mm ²)			
3997.180 - 1431.975			2565.205
全天空面積: (mm ²)			
100.00 × 100.00 × 3.14159265			31415.927
天空率:			
(31415.927 - 2565.205) / 31415.927 × 100			91.84 %



A-6
測定高:0m



計画建物正射影図位置確認表

位置	配置図		天空図		
	高さ 実寸 (m)	距離 実寸 (m)	仰角:h (°)	方位角 (°)	r × cos (h) 図寸 (mm)
(2)	10.81000	8.56119	51.6219	-42.5906	62.08
(3)	10.81000	6.31921	59.6907	-3.5731	50.47
(4)	10.81000	16.57179	33.1169	-1.3888	83.76

計画建物天空率算定表 (図寸)

天空率算定図半径:		100.00mm	
三斜面積:			
三斜No.	底辺 (mm)	高さ (mm)	面積 (mm2)
①	62.08	9.66	299.846
②	57.01	9.07	258.540
③	53.54	8.71	233.166
④	51.41	8.55	219.777
⑤	83.75	1.92	80.400
三斜合計面積			1091.729
扇形面積: (mm2)			
$100.00 \times 100.00 \times 3.14159265 \times 41.2018^\circ / 360^\circ$			3595.535
正射影面積: (mm2)			
3595.535 - 1091.729			2503.806
全天空面積: (mm2)			
$100.00 \times 100.00 \times 3.14159265$			31415.926
天空率:			
$(31415.926 - 2503.806) / 31415.926 \times 100$			92.03 %

